第３４回塩尻市地域公共交通会議兼第１６回塩尻市地域公共交通協議会　次第

日　時：令和６年１２月２３日（月曜日）
午後２時００分～
場　所：保健福祉センター３階　市民交流室

１　開　　会

２　会　長　挨　拶

３　議　　事

報告案件

（１）令和６年度のるーと塩尻片丘地区実証運行の状況について【資料No１】

協議案件

（１）第１号議案

令和６年度塩尻市地域内フィーダー系統確保維持改善計画に係る事業評価（案）について【資料No２】

（２）第２号議案

のるーと松本の田川高校乗り入れについて【資料№３】

４　そ　の　他

５　閉　　会

塩尻市地域公共交通会議兼塩尻市地域公共交通協議会　名簿

NO	区分	所属	役職	氏　　名
	主宰	塩尻市	会長	百瀬　敬
1	一般乗合旅客自動車運送事業者	アルピコタクシー㈱松本支社	支社長	横内　昌彦
2	一般乗合旅客自動車運送事業者（元）	アルピコ交通㈱バス事業部松本営業所	所長	斉藤　敦
3	一般旅客自動車運送事業者が組織する団体	塩尻地区タクシー協議会	代表	栁沢　賢一
4	一般旅客自動車運送事業者	辰野タクシー㈱	代表取締役	飯澤　和也
5	一般乗合旅客自動車運送事業者の運転手が組織する団体	アルピコタクシー労働組合	塩尻副支部長	有賀　弘
6	市内で運行している路線バス事業者	大新東株式会社松本営業所	所長	石割　貴志
7	住民又は利用者の代表者	大門地区区長会	会長	伊藤　秀文
8	住民又は利用者の代表者	塩尻東地区区長会	会長	松尾　伸吉
9	住民又は利用者の代表者	片丘地区区長会	会長	河野　文夫
10	住民又は利用者の代表者	広丘地区区長会	会長	保科　隆保
11	住民又は利用者の代表者	高出地区区長会	会長	降簱　一彦
12	住民又は利用者の代表者	吉田地区区長会	会長	神澤　隆夫
13	住民又は利用者の代表者	洗馬地区区長会	会長	大熊　陽一
14	住民又は利用者の代表者	宗賀地区区長会	会長	永田　公由
15	住民又は利用者の代表者	北小野地区区長会	会長	熊井　保
16	住民又は利用者の代表者	楢川地区区長会	会長	小嶋　正則
17	住民又は利用者の代表者	塩尻市友愛クラブ	副会長	小林　茂治
18	住民又は利用者の代表者	辰野町小野区	区長	小野　耕一
19	学識経験者	合同会社萬創社/名古屋大学	代表/客員准教授	福本　雅之
20	国土交通省北陸信越運輸局長又はその指名する者	国土交通省北陸信越運輸局交通企画課	課長	新倉　孝礼
21	国土交通省北陸信越運輸局長又はその指名する者	国土交通省北陸信越運輸局 長野運輸支局	首席運輸企画専門官	山岸　康範
22	道路管理者	国土交通省関東地方整備局 長野国道事務所	副所長	小松　輝男
23	道路管理者	飯田国道事務所 木曽維持出張所	所長	小林　知成
24	道路管理者	松本建設事務所 維持管理課	課長	中川　文晴
25	道路管理者	松本市 建設部維持課	課長	羽山　和秀
26	道路管理者	辰野町 建設水道課	課長	熊谷　健司
27	道路管理者	塩尻市 建設部建設課	課長	武居　寿明
28	塩尻警察署	塩尻警察署 交通課	課長	上林　浩
29	長野県の関係行政機関の職員	長野県 企画振興部交通政策課	課長	丸山　正徳
30	長野県の関係行政機関の職員	松本地域振興局 企画振興課	課長	松島　弘子
31	市職員	塩尻市 建設部	部長	曾根原　博
32	その他市長が必要と認める者	長野県バス協会	専務理事	松井　道夫
33	その他市長が必要と認める者	東日本旅客鉄道（株）塩尻駅	駅長	長瀬　孝
34	その他市長が必要と認める者	塩尻市PTA連合会	会長	関澤　正信
35	その他市長が必要と認める者	塩尻市社会福祉協議会	会長	伊藤　高良
36	その他市長が必要と認める者	塩尻商工会議所	副会頭	清沢　和恵
37	その他市長が必要と認める者	塩尻市観光協会	会長	林　修一

塩尻市地域公共交通協議会事務局

事務局長　塩尻市都市計画課長　米山　進

塩尻市都市計画課、企画課、地域共生推進課、福祉支援課、先端産業振興室、観光プロモーション課、学校教育課、保育課

資料No.1

報告案件
令和6年度のる一と塩尻
片丘地区実証運行の状況について

shiojiri

P1～　事業背景・実施計画
P6～　事業スケジュール
P9～　住民周知、利用促進に向けた活動状況
P13～　住民アンケート実施状況
P16～　片丘線の利用者ヒアリング
P18～　利用状況及び分析（10月1日～11月30日）

1. 事業背景・実施計画
2. 事業スケジュール
3. 住民周知、利用促進に向けた活動状況
4. 住民アンケートの実施状況
5. 片丘線の利用者ヒアリング
6. 利用状況及び分析（10月1日～11月30日）

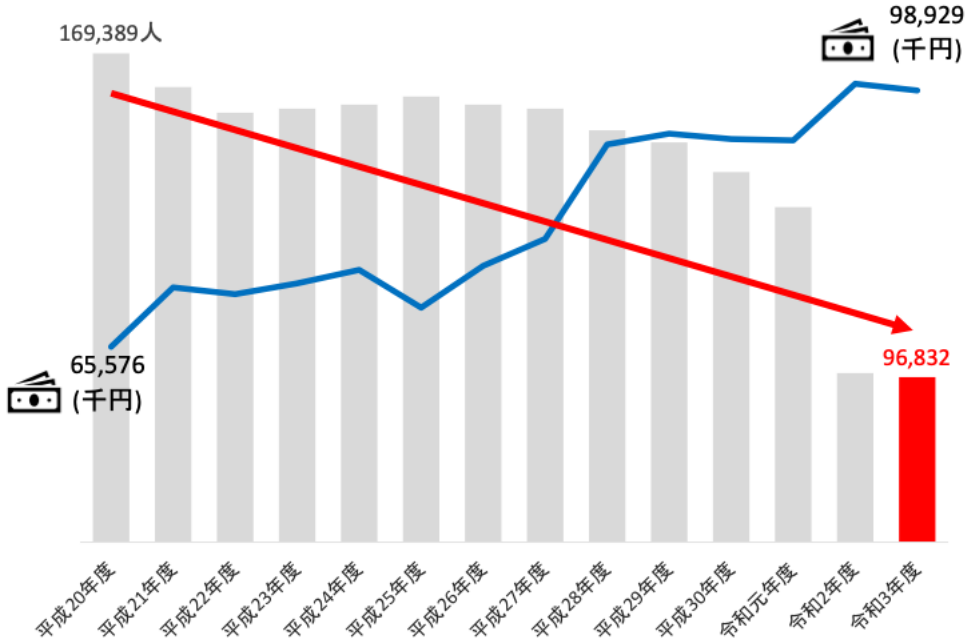
© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

利用者ニーズの多様化等を背景として利用者が年々減少し、地域振興バスの事業費も右肩上がりに増加している状況で、抜本的な改善が求められています。

ニーズの多様化

空気を運ぶバス

ドライバー不足と高齢化



ピーク時から

約7万人減

委託料は増加

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

1. 事業背景・実施計画

5.2 オンデマンド交通や新技術も活用した効率的な地域公共交通体系の実現

基本方針	オンデマンド交通や新技術も活用した効率的な地域公共交通体系の実現		
取り組み施策	お-1　オンデマンドバスの導入		
事業目的	利用ニーズの多様化を背景とする地域振興バスの利用者減少、運転士の高齢化、担い手不足等の課題に対応するため、移動困難者を含む利用者にとって適切な範囲に適切な台数のオンデマンドバスを導入し、持続可能な地域公共交通の実現を目指します。		
実施主体	塩尻市	交通事業者	関係企業
	○	○	○

取り組み施策と実施期間

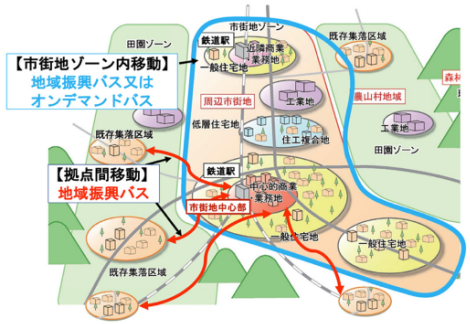
実施項目	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	R7 2025	R8 2026
導入検討調査・評価・見直し	導入計画作成		ODデータに基づく評価・検証・見直し			
プロモーション活動	時刻表の掲載、地区回覧、市ホームページ、観光イベント、SNS、地区説明会等において情報発信					
オンデマンドバスの導入	実証運行					
		本格運行・適宜エリア拡大				

事業概要

特に市街地ゾーン内の定時定路線バスは、必ずしも利用者及び目的施設に近接したバス停、ダイヤではないことから需給の不一致が拡大し、利用者数が減少しています。そのため、利用者ニーズに応えることが困難な地域においては、オンデマンドバスの実証運行結果に基づき、現在の地域振興バス利用者の意向を十分に考慮し、転換可能な路線は令和７年までに本格運行を目指します。

事業イメージ

中心市街地循環線、塩尻東線、みどり湖・東山線、塩尻北部線、広丘駅循環線、片丘線を代替対象路線と位置付け、段階的に実証運行を行います。



図お-1-1　交通体系の将来イメージ

事業イメージ

ステップ1
- 実証運行開始後、対象路線およびエリアの交通弱者およびヘビーユーザーからなる住民意見交換会を実施し、乗車を呼びかけるとともに利用者に地域振興バスとオンデマンドバスの乗車比較をしていただきます。
- 同軸で利用実態調査を実施し、評価検証を進め、その結果を地域公共交通会議で検証します。

ステップ2
- 再度、対象路線およびエリアの交通弱者およびヘビーユーザーからなる住民意見交換会を実施し、実証運行時の利用状況を説明するとともに、地域振興バスとオンデマンドバスのどちらのモビリティサービスが良いかを選択していただきます
- その結果については、地域公共交通会議で検証し、地域公共交通会議及び交通事業者との協議後、交通弱者およびヘビーユーザーの利用実態および見込まれる総利用者数も踏まえたうえで翌年以降の運行手段や方法について協議を行います

ステップ3
- 最終的な移動手段や運行方法の決定を行い、その結果については地域住民に説明を行います

図お-1-2　オンデマンドバス代替検討フローイメージ

図お-1-3　2020 年 11 月実証運行時　AI 活用型オンデマンドバスのるーと塩尻運行車両

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

令和６年度 AI活用型オンデマンドバス「のるーと塩尻」実証運行計画

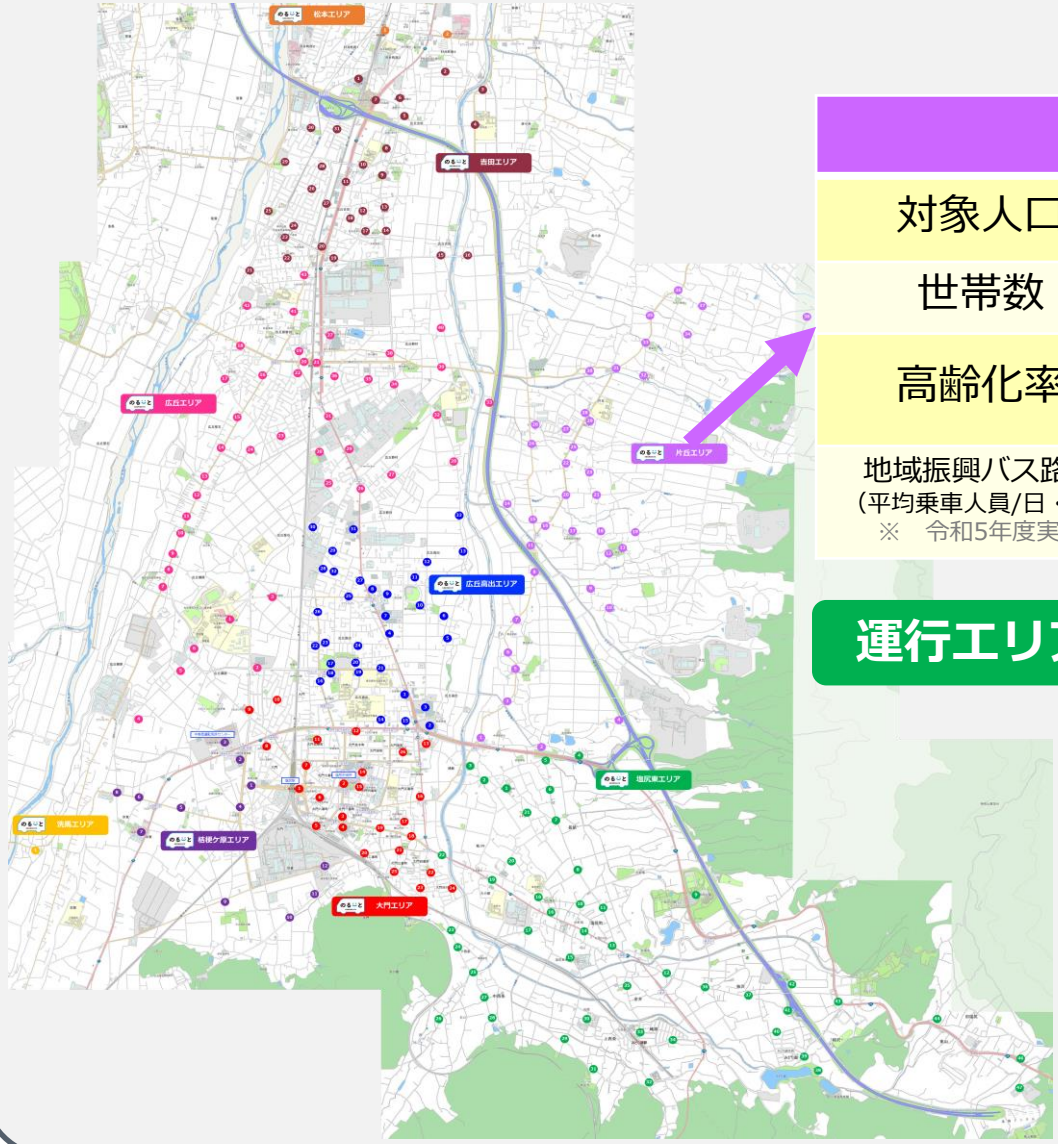
のるーと KNOWROUTE

事業の概要

項目	内容
実施主体	塩尻市・（一財）塩尻市振興公社
実証期間	令和6年10月1日～令和7年3月31日
運行時間	平日　午前７時 00分～午後８時 00分 土曜日　午前９時 00分～午後８時 00分 日祝　午前９時 00分～午後６時 00分
運行事業者	アルピコタクシー（株）
事業許可	道路運送法 第4条(区域運行)
実証運行対象エリア	片丘エリア
実証運行エリア面積	約7.5㎢(片丘エリアのみ) 【全エリア約37.5㎢】
使用車両台数	平日 ６台　土 ５台　日祝 ４台 【全エリア】
乗降拠点設置箇所数	70箇所(システム設定含む) 【全エリア381箇所】
運賃設定 （※詳細パンフレットのとおり）	【７ｋｍ以下】大人200円／シニア・小児・障がい者等 100円 【７ｋｍ超】　大人400円／シニア・小児・障がい者等 200円
転換検証対象路線	地域振興バス「片丘線」

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

本格運行中の現行エリアを片丘エリアまで拡大し、一面で実証運行を実施



片丘エリア概要	
対象人口	約3,700人
世帯数	約1,550世帯
高齢化率	37.2% （全市平均29.1%）
地域振興バス路線 （平均乗車人員/日・便） ※　令和5年度実績	片丘線 （19.88人/日）（3.98人/便）

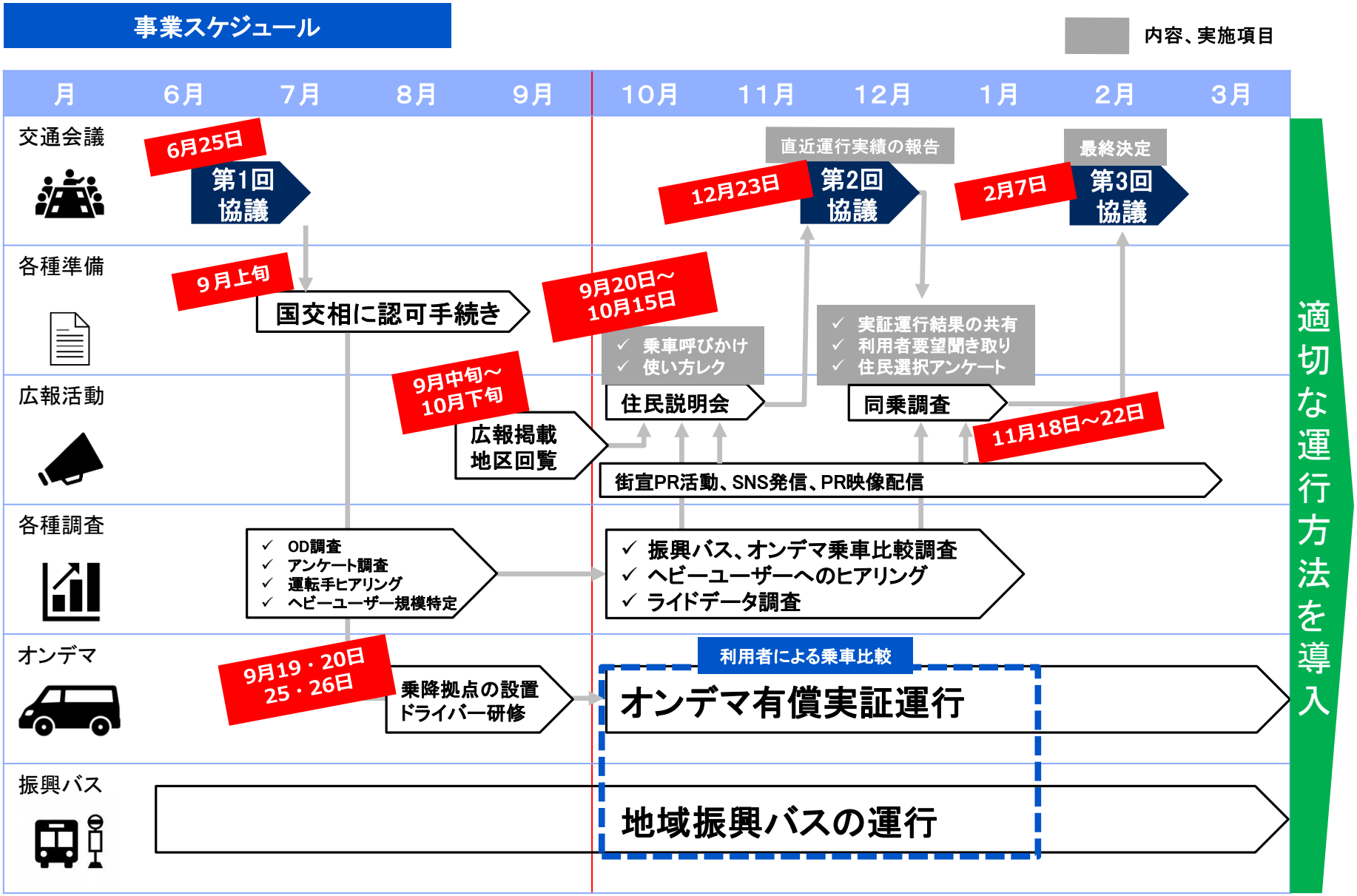
運行エリア図

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

1. 事業背景・実施計画
2. **事業スケジュール**
3. 住民周知、利用促進に向けた活動状況
4. 住民アンケートの実施状況
5. 片丘線の利用者ヒアリング
6. 利用状況及び分析（10月1日～11月30日）

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

2. 事業スケジュール

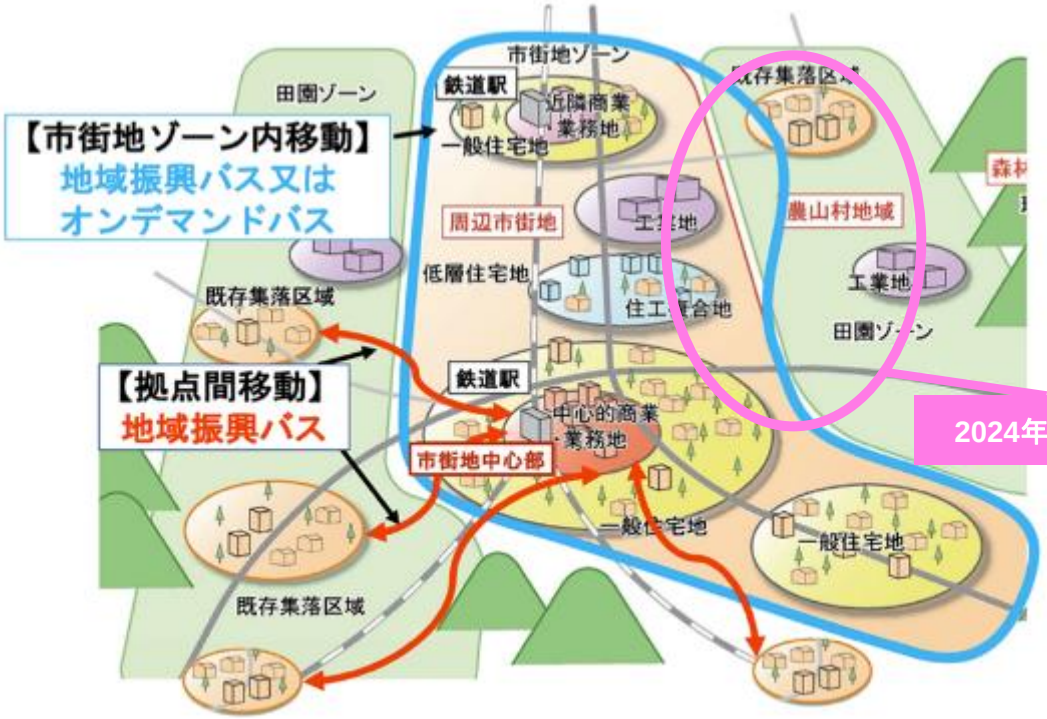


© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

2. 事業スケジュール

- ✓ 市街地ゾーンで年次ごと実証運行エリアを拡大しつつ、ヘビーユーザーに地域振興バスとオンデマンドバスの乗車比較をしていただき、どちらのサービスが適切かニーズを分析します。
- ✓ その結果を踏まえ次年度の適切な交通モードでの運行を検討していきます。

実証運行エリア	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
中心市街地循環線	完了 / 実証運行	本格運行開始			
塩尻東線/みどり湖・東山線		完了 / 実証運行	本格運行開始		
広丘駅循環線/塩尻北部線			完了 / 実証運行	本格運行開始	
片丘線				実証運行	住民選択の結果 適切なモードで運行



住民選択

➢ アンケート、住民説明会で利用者意見を交政

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

1. 事業背景・実施計画
2. 事業スケジュール
3. **住民周知、利用促進に向けた活動状況**
4. 住民アンケートの実施状況
5. 片丘線の利用者ヒアリング
6. 利用状況及び分析（10月1日～11月30日）

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

対面での説明を活動の軸とし、住民説明会は合計で12回開催し、延べ131名の方にご参加いただきました。その他、市広報掲載やSNS発信、アプリ専用窓口での登録支援など利用促進に向けた取り組みを実施してきました。

令和6年度実績
【実施日】9/20～10/15（計12回）
【参加者】延べ131名（10.08名/回）

令和5年度実績
【実施日】9/25～11/6（計19回）
【参加者】延べ265名（13.9名/回）

令和4年度実績
【実施日】9/26～11/15（計26回）
【参加者】延べ245名（9.4名/回）

令和3年度実績
【実施日】9/27～11/16（計24回）
【参加者】延べ151名（6.29名/回）

地区内回覧用・案内チラシ

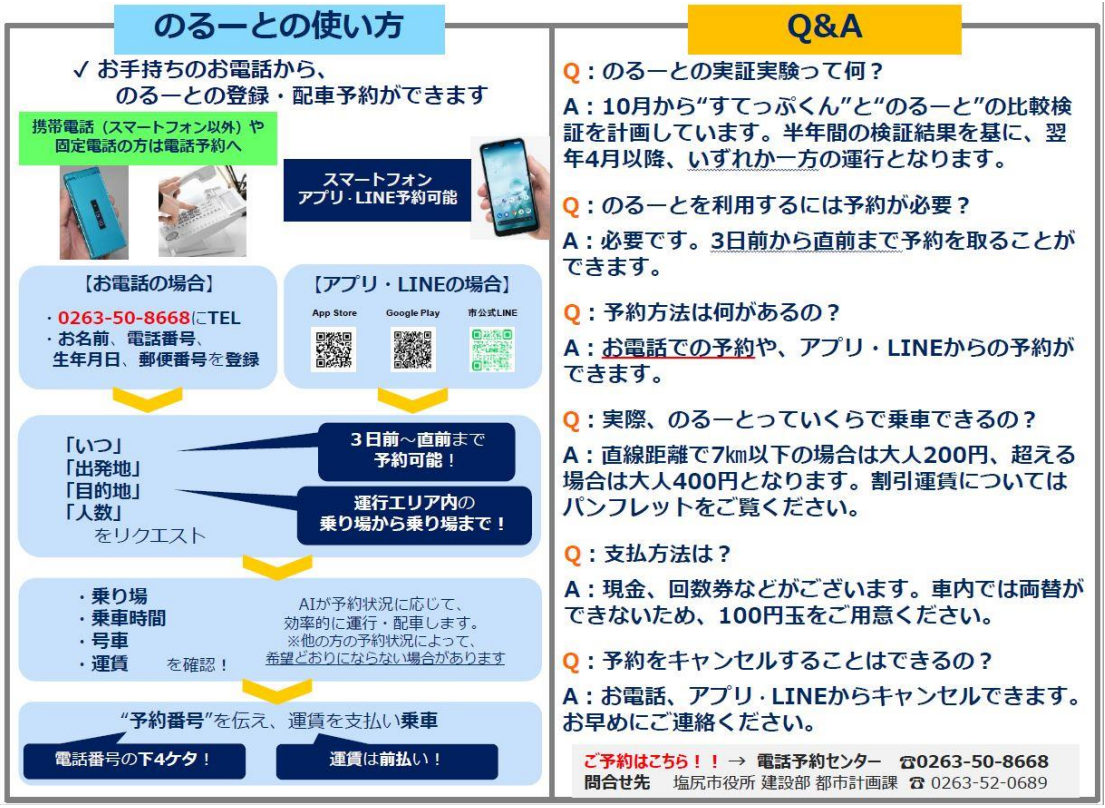
市主催の住民説明会以外にも、今回新たに乗降拠点を設置した「ケアハウスえんれい」から依頼を受けて、出張説明会を開催しました。当日は施設職員の方含め、15名の方に対して、「のるーと塩尻」の導入経緯や片丘地区での実証実験の内容について説明しました。

◆当日は「のるーと塩尻」に係る様々なご質問をいただきました。

（ご質問内容／一部抜粋）
Q.到着時間は指定できるか？
A.現在のシステム上、到着時間を指定した予約はできません。
　アプリ等で予約の場合は、予約確認画面にて到着予想時間が表示されます。
　お電話で予約した場合は、オペレーターにご相談ください。

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

市広報を活用して「住民説明会のお知らせ（9月号）」「実証運行のお知らせ（10月号）」、「実証運行に係るアンケートのご案内（11月号）」等の情報を発信してきました。
SNSや地区回覧等を併用した情報発信（複線化）を行い、発信力強化に努めております。



地区回覧用チラシ

市広報掲載

【9月号】
・住民説明会のお知らせ
【10月号】
・実証運行のお知らせ
【11月号】
・実証運行に係るアンケートのご案内
【12月号】
・スマホ予約相談窓口のご案内

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

1. 事業背景・実施計画
2. 事業スケジュール
3. 住民周知、利用促進に向けた活動状況
4. **住民アンケートの実施状況**
5. 片丘線の利用者ヒアリング
6. 利用状況及び分析（10月1日～11月30日）

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

4. 住民アンケートの実施状況

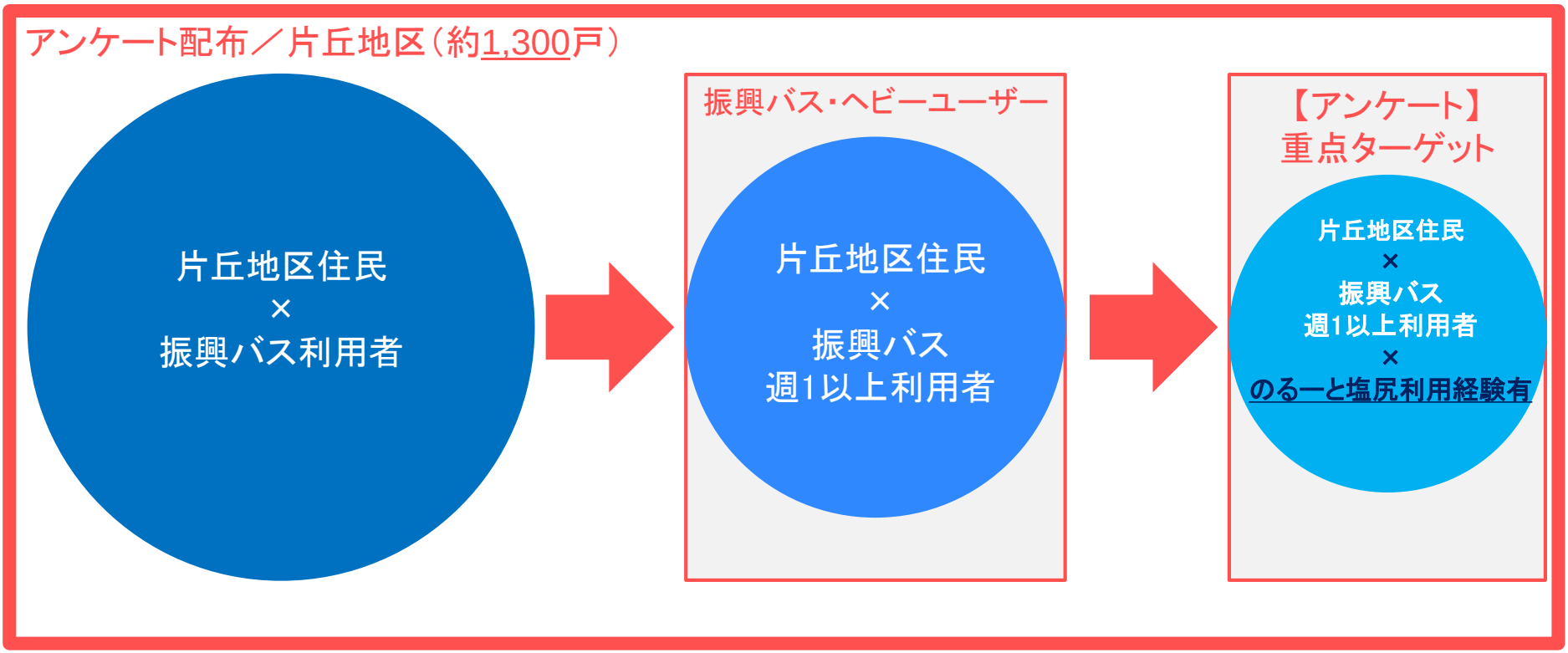
- ✓ **片丘地区へ本実証運行に係るアンケートを全戸配布（約1,300戸）しています。**
- ✓ **1度以上のるーと塩尻に乗車をいただき、すてっぷくんと比較の上で回答をお願いしています。**
- ✓ **アンケート結果の詳細は令和7年2月7日の地域公共交通会議で報告予定です。**

1　回答方法

- ➢ 紙ベース回答 or Web回答

2　回答率向上に向けた活動

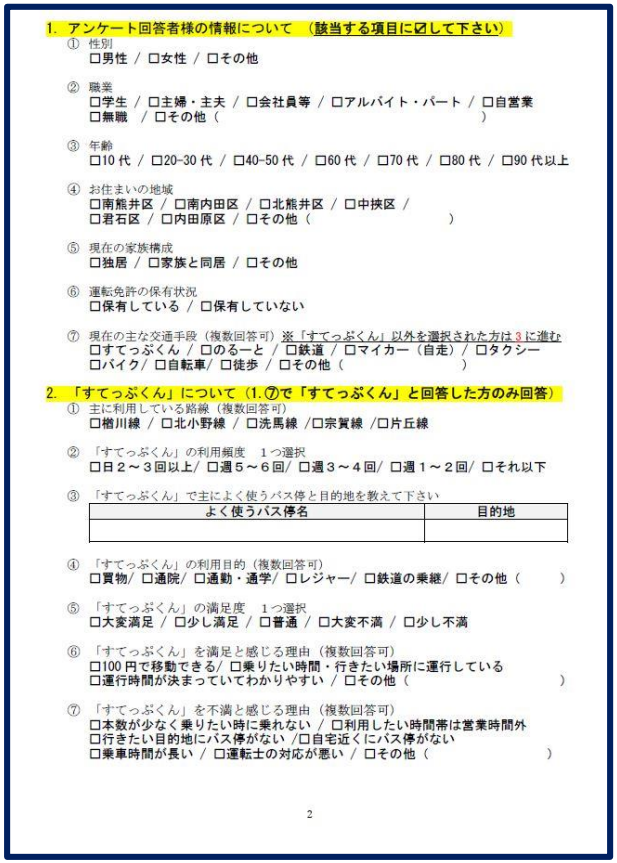
- ➢ 実証運行エリアの全世帯（約1,500世帯）を中心に全戸配布（約1,300戸）
- ➢ 代替対象路線である「片丘線」に同乗し、アンケート回答を依頼
- ➢ のるーと塩尻・車内、公共施設にアンケートを設置



© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

4. 住民アンケートの実施状況

アンケートの内容の詳細はお配りしているアンケート用紙をご参照ください。



1. アンケート回答者様の情報について （該当する項目に☑して下さい）

① 性別
□男性 / □女性 / □その他

② 職業
□学生 / □主婦・主夫 / □会社員等 / □アルバイト・パート / □自営業
□無職 / □その他（ ）

③ 年齢
□10 代 / □20-30 代 / □40-50 代 / □60 代 / □70 代 / □80 代 / □90 代以上

④ お住まいの地域
□南熊井区 / □南内田区 / □北熊井区 / □中挟区 /
□君石区 / □内田原区 / □その他（ ）

⑤ 現在の家族構成
□独居 / □家族と同居 / □その他

⑥ 運転免許の保有状況
□保有している / □保有していない

⑦ 現在の主な交通手段（複数回答可）※「すてっぷくん」以外を選択された方は 3 に進む
□すてっぷくん / □のるーと / □鉄道 / □マイカー（自走）/ □タクシー
□バイク/ □自転車/ □徒歩 / □その他（ ）

2. 「すてっぷくん」について（1.⑦で「すてっぷくん」と回答した方のみ回答）

① 主に利用している路線（複数回答可）
□楢川線 / □北小野線 / □洗馬線 /□宗賀線 /□片丘線

② 「すてっぷくん」の利用頻度 1つ選択
□日２～３回以上/ □週５～６回/ □週３～４回/ □週１～２回/ □それ以下

③ 「すてっぷくん」で主によく使うバス停と目的地を教えて下さい

よく使うバス停名	目的地

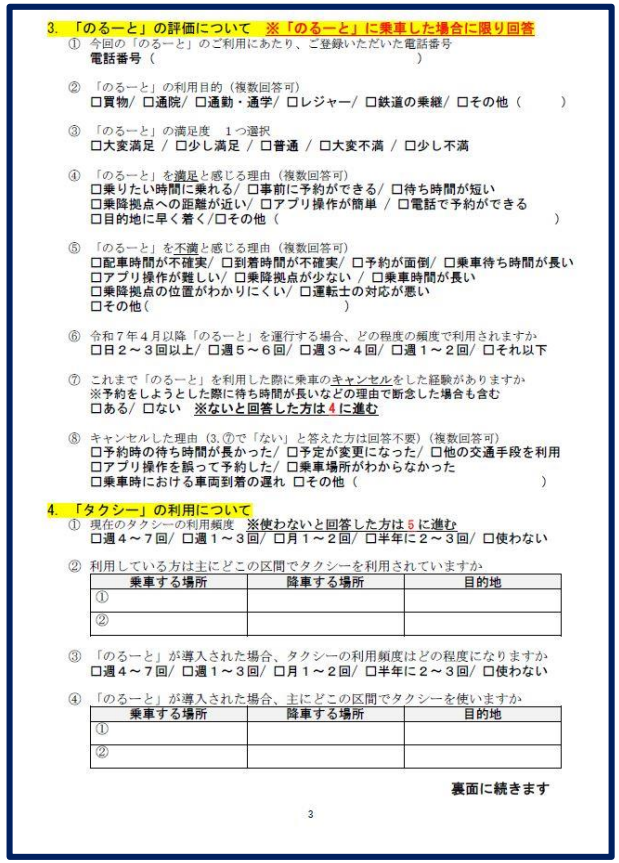
④ 「すてっぷくん」の利用目的（複数回答可）
□買物/ □通院/ □通勤・通学/ □レジャー/ □鉄道の乗継/ □その他（ ）

⑤ 「すてっぷくん」の満足度 1つ選択
□大変満足 / □少し満足 / □普通 / □大変不満 / □少し不満

⑥ 「すてっぷくん」を満足と感じる理由（複数回答可）
□100 円で移動できる/ □乗りたい時間・行きたい場所に運行している
□運行時間が決まっていてわかりやすい / □その他（ ）

⑦ 「すてっぷくん」を不満と感じる理由（複数回答可）
□本数が少なく乗りたい時に乗れない / □利用したい時間帯は営業時間外
□行きたい目的地にバス停がない /□自宅近くにバス停がない
□乗車時間が長い / □運転士の対応が悪い / □その他（ ）

2



3. 「のるーと」の評価について ※「のるーと」に乗車した場合に限り回答

① 今回の「のるーと」のご利用にあたり、ご登録いただいた電話番号
電話番号（ ）

② 「のるーと」の利用目的（複数回答可）
□買物/ □通院/ □通勤・通学/ □レジャー/ □鉄道の乗継/ □その他（ ）

③ 「のるーと」の満足度 1つ選択
□大変満足 / □少し満足 / □普通 / □大変不満 / □少し不満

④ 「のるーと」を満足と感じる理由（複数回答可）
□乗りたい時間に乗れる/ □事前に予約ができる/ □待ち時間が短い
□乗降拠点への距離が近い/ □アプリ操作が簡単 / □電話で予約ができる
□目的地に早く着く/□その他（ ）

⑤ 「のるーと」を不満と感じる理由（複数回答可）
□配車時間が不確実/ □到着時間が不確実/ □予約が面倒/ □乗車待ち時間が長い
□アプリ操作が難しい/ □乗降拠点が少ない / □乗車時間が長い
□乗降拠点の位置がわかりにくい/ □運転士の対応が悪い
□その他（ ）

⑥ 令和７年４月以降「のるーと」を運行する場合、どの程度の頻度で利用されますか
□日２～３回以上/ □週５～６回/ □週３～４回/ □週１～２回/ □それ以下

⑦ これまで「のるーと」を利用した際に乗車のキャンセルをした経験がありますか
※予約をしようとした際に待ち時間が長いなどの理由で断念した場合も含む
□ある/ □ない ※ないと回答した方は 4 に進む

⑧ キャンセルした理由（3.⑦で「ない」と答えた方は回答不要）（複数回答可）
□予約時の待ち時間が長かった/ □予定が変更になった/ □他の交通手段を利用
□アプリ操作を誤って予約した/ □乗車場所がわからなかった
□乗車時における車両到着の遅れ □その他（ ）

4. 「タクシー」の利用について

① 現在のタクシーの利用頻度 ※使わないと回答した方は 5 に進む
□週４～７回/ □週１～３回/ □月１～２回/ □半年に２～３回/ □使わない

② 利用している方は主にどこの区間でタクシーを利用されていますか

乗車する場所	降車する場所	目的地
①		
②		

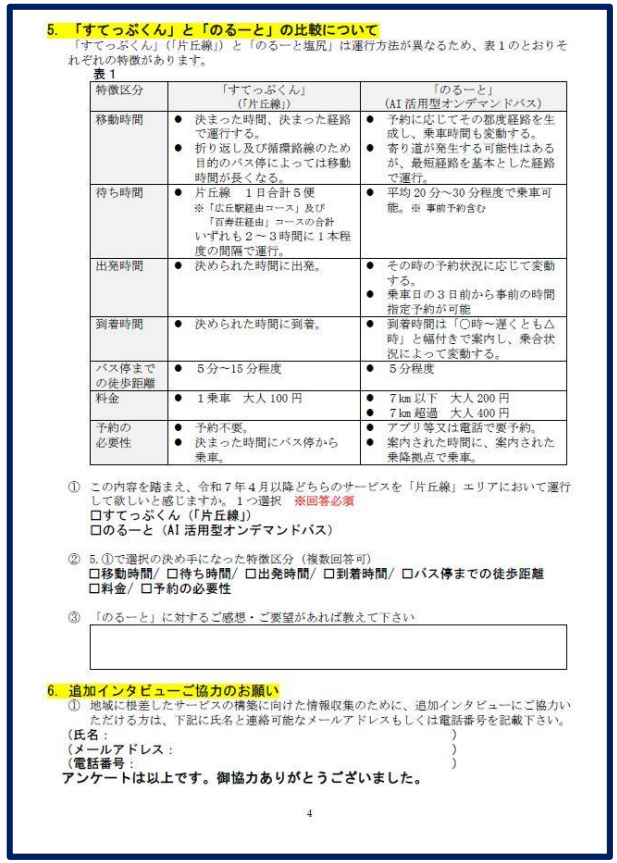
③ 「のるーと」が導入された場合、タクシーの利用頻度はどの程度になりますか
□週４～７回/ □週１～３回/ □月１～２回/ □半年に２～３回/ □使わない

④ 「のるーと」が導入された場合、主にどこの区間でタクシーを使いますか

乗車する場所	降車する場所	目的地
①		
②		

裏面に続きます

3



5. 「すてっぷくん」と「のるーと」の比較について

「すてっぷくん」（「片丘線」）と「のるーと塩尻」は運行方法が異なるため、表１のとおりそれぞれの特徴があります。

表１

特徴区分	「すてっぷくん」（「片丘線」）	「のるーと」（AI 活用型オンデマンドバス）
移動時間	● 決まった時間、決まった経路で運行する。 ● 折り返し及び循環路線のため目的のバス停によっては移動時間が長くなる。	● 予約に応じてその都度経路を生成し、乗車時間も変動する。 ● 寄り道が発生する可能性はあるが、最短経路を基本とした経路で運行。
待ち時間	● 片丘線 1日合計５便 ※「広丘駅経由コース」及び「百寿荘経由」コースの合計いずれも２～３時間に１本程度の間隔で運行。	● 平均 20 分～30 分程度で乗車可能。※ 事前予約含む
出発時間	● 決められた時間に出発。	● その時の予約状況に応じて変動する。 ● 乗車日の３日前から事前の時間指定予約が可能
到着時間	● 決められた時間に到着。	● 到着時間は「○時～遅くとも△時」と幅付きで案内し、乗合状況によって変動する。
バス停までの徒歩距離	● ５分～15 分程度	● ５分程度
料金	● １乗車 大人 100 円	● 7 ㎞以下 大人 200 円 ● 7 ㎞超過 大人 400 円
予約の必要性	● 予約不要。 ● 決まった時間にバス停から乗車。	● アプリ等又は電話で要予約。 ● 案内された時間に、案内された乗降拠点で乗車。

① この内容を踏まえ、令和７年４月以降どちらのサービスを「片丘線」エリアにおいて運行して欲しいと感じますか。１つ選択 ※回答必須
□すてっぷくん（「片丘線」）
□のるーと（AI 活用型オンデマンドバス）

② 5.①で選択の決め手になった特徴区分（複数回答可）
□移動時間/ □待ち時間/ □出発時間/ □到着時間/ □バス停までの徒歩距離
□料金/ □予約の必要性

③ 「のるーと」に対するご感想・ご要望があれば教えて下さい

6. 追加インタビューご協力のお願い

① 地域に根差したサービスの構築に向けた情報収集のために、追加インタビューにご協力いただける方は、下記に氏名と連絡可能なメールアドレスもしくは電話番号を記載下さい。
（氏名： ）
（メールアドレス： ）
（電話番号： ）

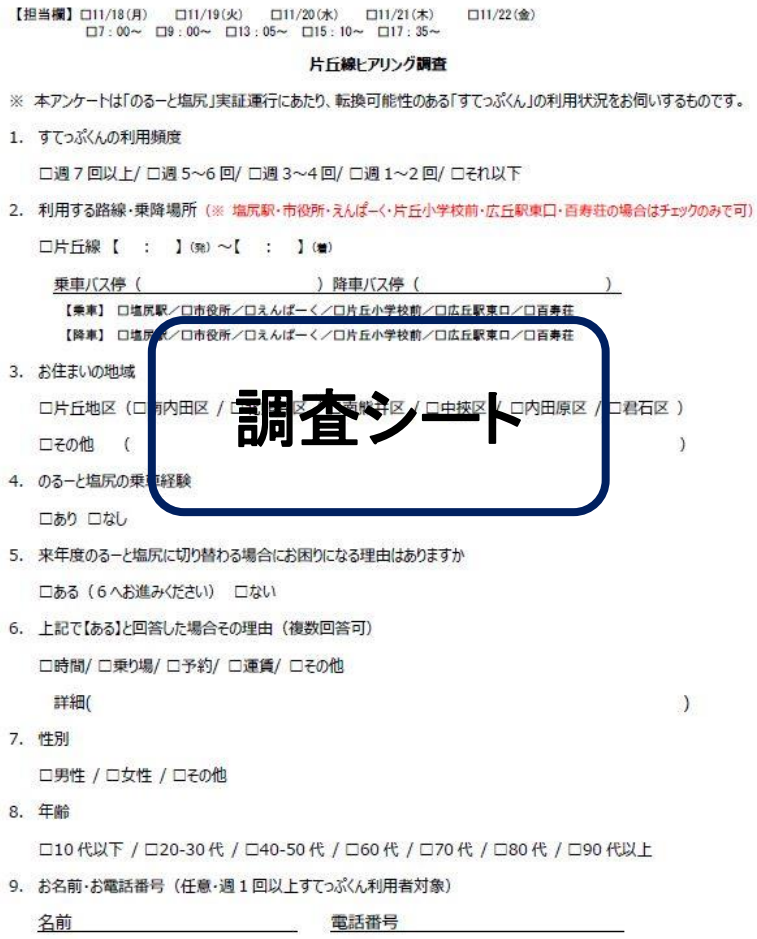
アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

4

1. 事業背景・実施計画
2. 事業スケジュール
3. 住民周知、利用促進に向けた活動状況
4. 住民アンケートの実施状況
5. **片丘線の利用者ヒアリング**
6. 利用状況及び分析（10月1日～11月30日）

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

5. 片丘線の利用者ヒアリング



【担当欄】□11/18(月)　□11/19(火)　□11/20(水)　□11/21(木)　□11/22(金)
□7：00～　□9：00～　□13：05～　□15：10～　□17：35～

片丘線ヒアリング調査

※ 本アンケートは「のるーと塩尻」実証運行にあたり、転換可能性のある「すてっぷくん」の利用状況をお伺いするものです。

1. すてっぷくんの利用頻度
□週７回以上/ □週 5～6 回/ □週 3～4 回/ □週 1～2 回/ □それ以下
2. 利用する路線・乗降場所（※ 塩尻駅・市役所・えんぱーく・片丘小学校前・広丘駅東口・百寿荘の場合はチェックのみで可）
□片丘線【　：　】(発)～【　：　】(着)
乗車バス停（　　）降車バス停（　　）
【乗車】□塩尻駅／□市役所／□えんぱーく／□片丘小学校前／□広丘駅東口／□百寿荘
【降車】□塩尻駅／□市役所／□えんぱーく／□片丘小学校前／□広丘駅東口／□百寿荘
3. お住まいの地域
□片丘地区（□南内田区 / □[illegible]区 / □[illegible]区 / □中挾区 / □内田原区 / □君石区 ）
□その他　（　　）
4. のるーと塩尻の乗車経験
□あり □なし
5. 来年度のるーと塩尻に切り替わる場合にお困りになる理由はありますか
□ある（６へお進みください）　□ない
6. 上記で【ある】と回答した場合その理由（複数回答可）
□時間/ □乗り場/ □予約/ □運賃/ □その他
詳細(　　)
7. 性別
□男性 / □女性 / □その他
8. 年齢
□10 代以下 / □20-30 代 / □40-50 代 / □60 代 / □70 代 / □80 代 / □90 代以上
9. お名前・お電話番号（任意・週１回以上すてっぷくん利用者対象）
名前　　電話番号

調査シート

１．趣　旨

（１）片丘線のヘビーユーザーを抽出するための調査。

（２）同線に乗車し、ヘビーユーザーへ実証運行の趣旨や内容を説明し、のるーと乗車やアンケート回収に繋げる。

２．期　間

令和6年11月18日（月）～22日（金）

３．調査方法（のるーと塩尻乗車経験の確認）

（１）乗車経験「あり」の方にはアンケート回答状況を確認し、未回答の場合は早期（年内）の回答を促す。

（２）乗車経験「なし」の方にはのるーと塩尻の運行パンフレットを示し、事業説明とともにクーポンでの初乗り利用を促す。

80歳
女性

【ユーザーの声（イメージ）】
すてっぷくんは広丘駅への道のりでほぼ毎日利用。１００円で移動できるのが便利。
のるーとは使い方がわからない。

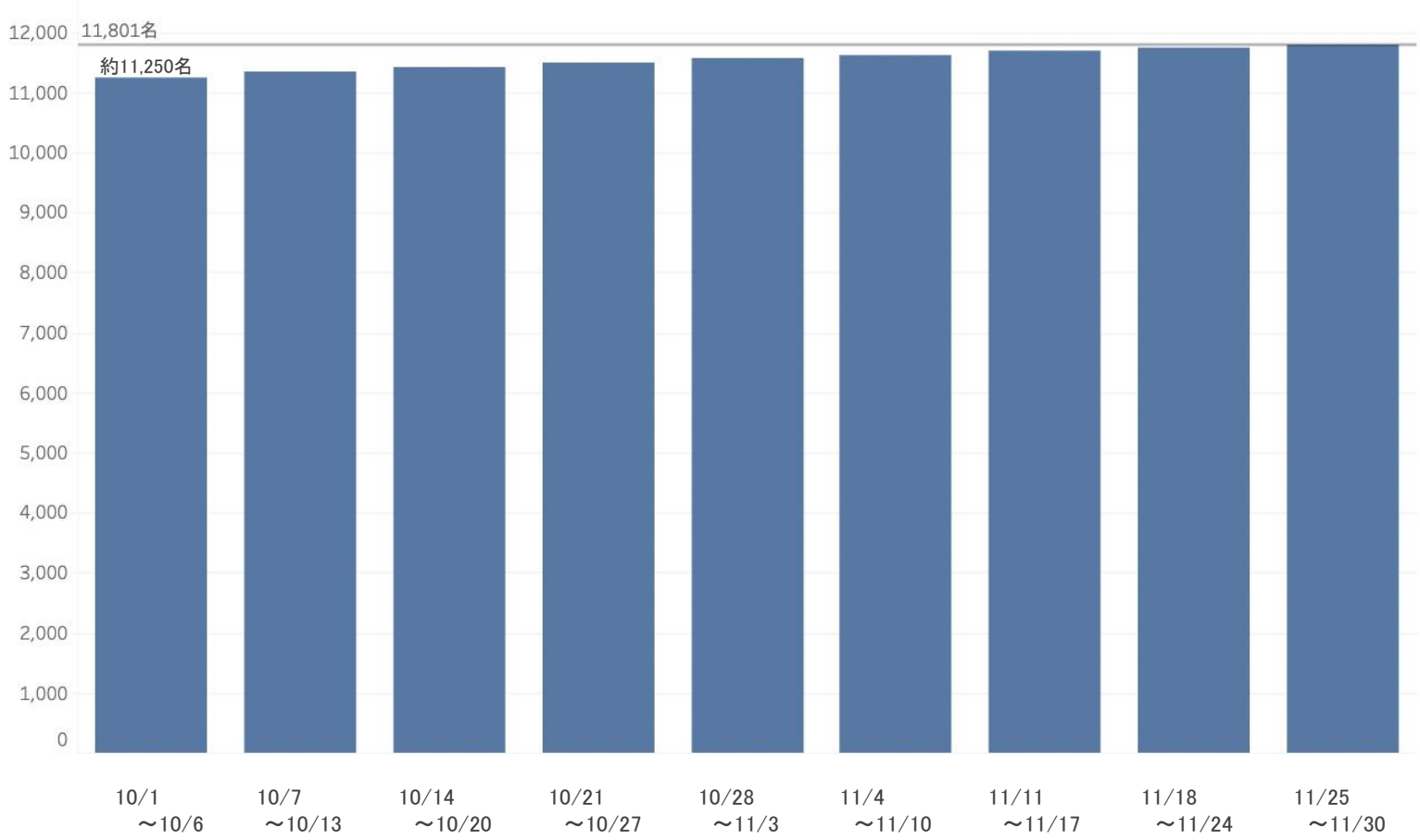
© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

1. 事業背景・実施計画
2. 事業スケジュール
3. 住民周知、利用促進に向けた活動状況
4. 住民アンケートの実施状況
5. 片丘線の利用者ヒアリング
6. **利用状況及び分析（10月1日～11月30日）**

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

✓ **11/30時点で登録者数は11,801名であり、2024年10月の片丘地区拡張以降、約550名の方に新規登録をいただきました。**

登録者数の推移（週次）

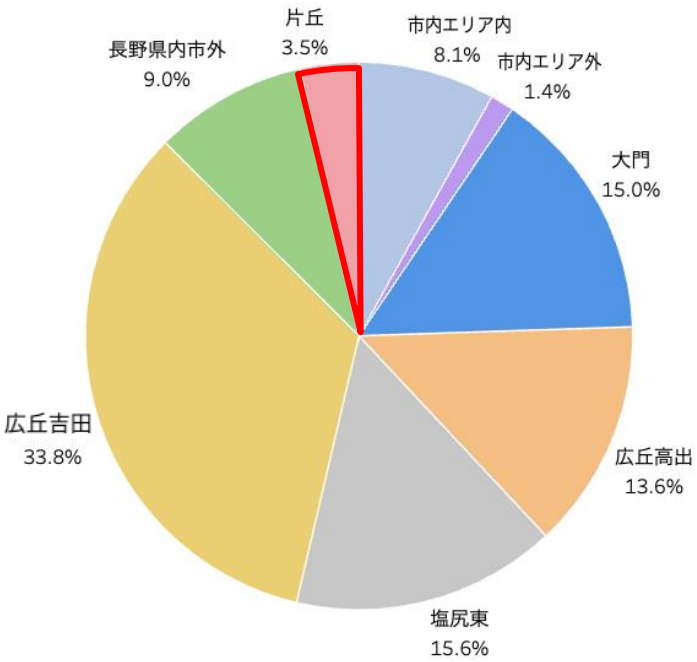


© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

- ✓ 利用登録時に「郵便番号」を任意でご回答いただいております。
- ✓ 登録者のうち、片丘地区の方は全体の5.4%を占めており、実証運行開始前（3.5%）と比較して約2%増加しています。

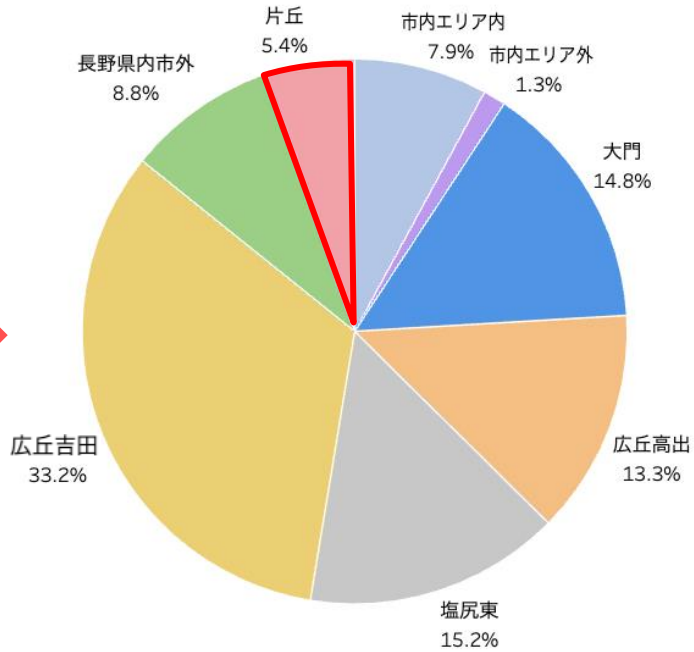
※片丘=「〒399-0071」「〒399-0711」を対象の郵便番号とする

郵便番号登録比率【n=6,337】
(長野県外又は不明除く)



※ 2024年9月30日以前

郵便番号登録比率【n=6,739】
(長野県外又は不明除く)

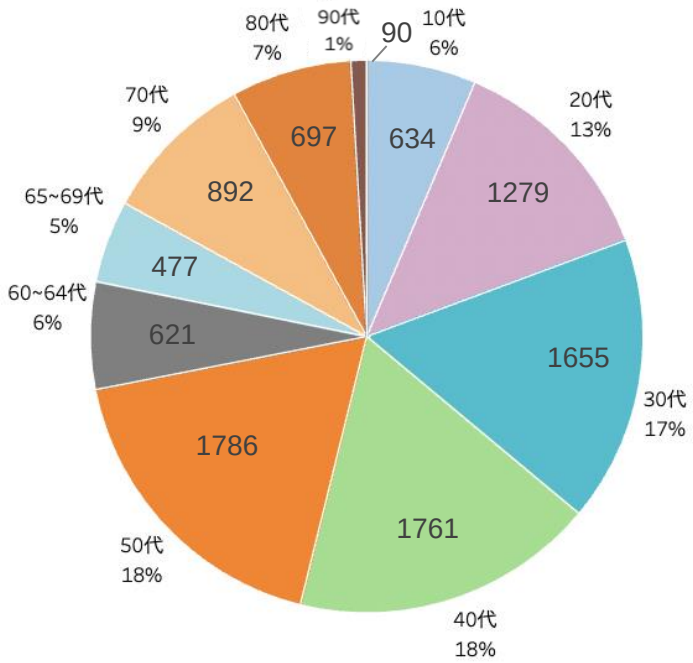


※ 2024年10月1日以後

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

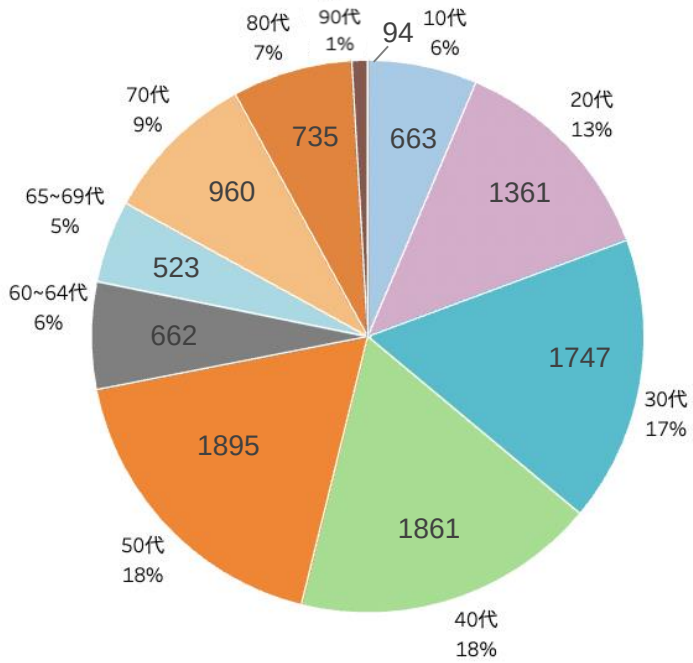
✓ 実証運行開始前後で年代別の構成比率に大きな変化はなく、10歳～90歳代まで幅広い年代の方にご登録をいただいております。

実証前の年代別構成比率比率【n=9,896】



※ 2024年9月30日以前

実証後の年代別構成比率比率【n=10,505】

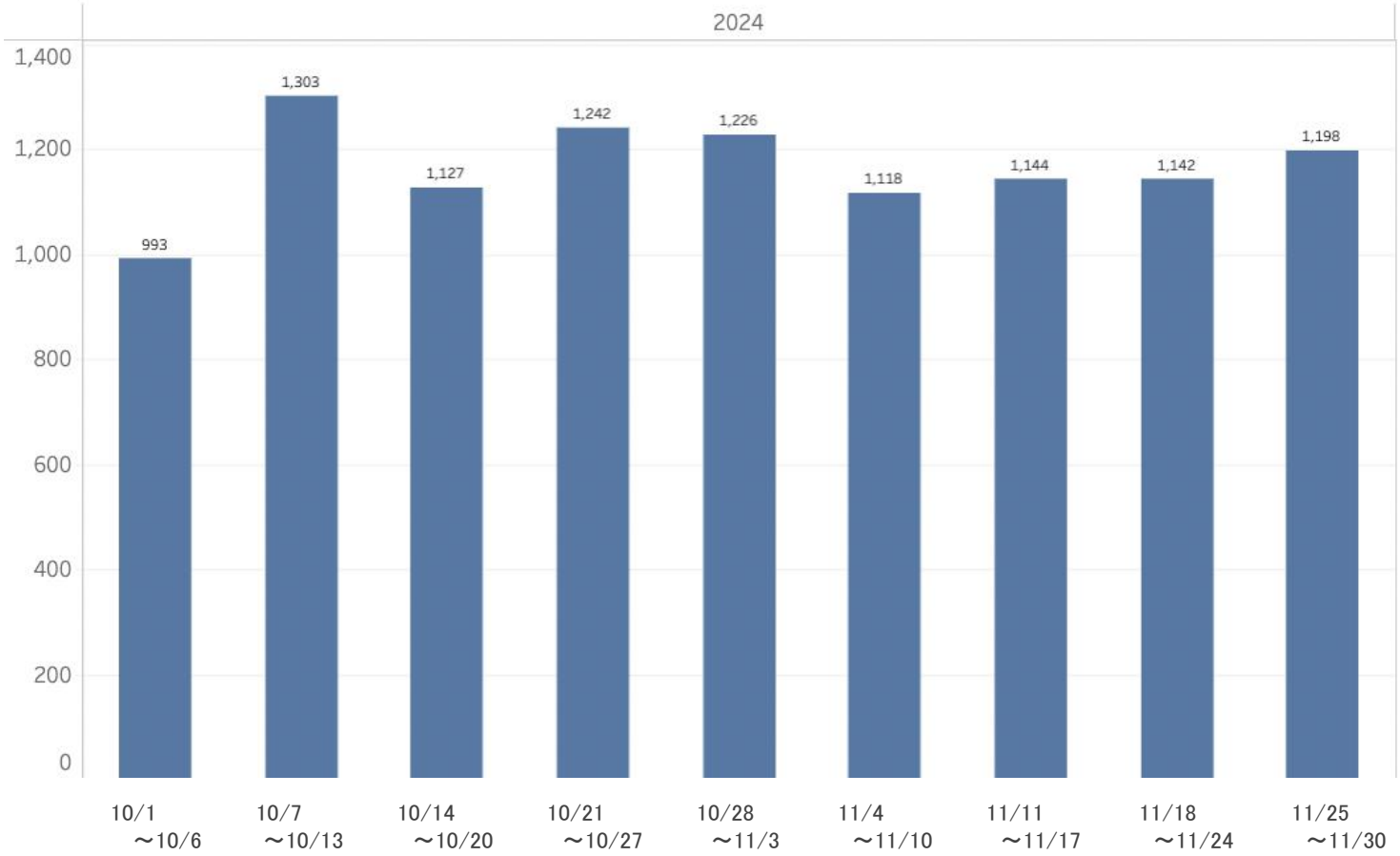


※ 2024年10月1日以後

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

- ✓ 片丘地区拡張後の1日当たりの総乗客数は約170名/日で推移をしています。
- ✓ 片丘地区の総乗客数は、次ページ以降に記載しております。

総乗客数の推移（週次）

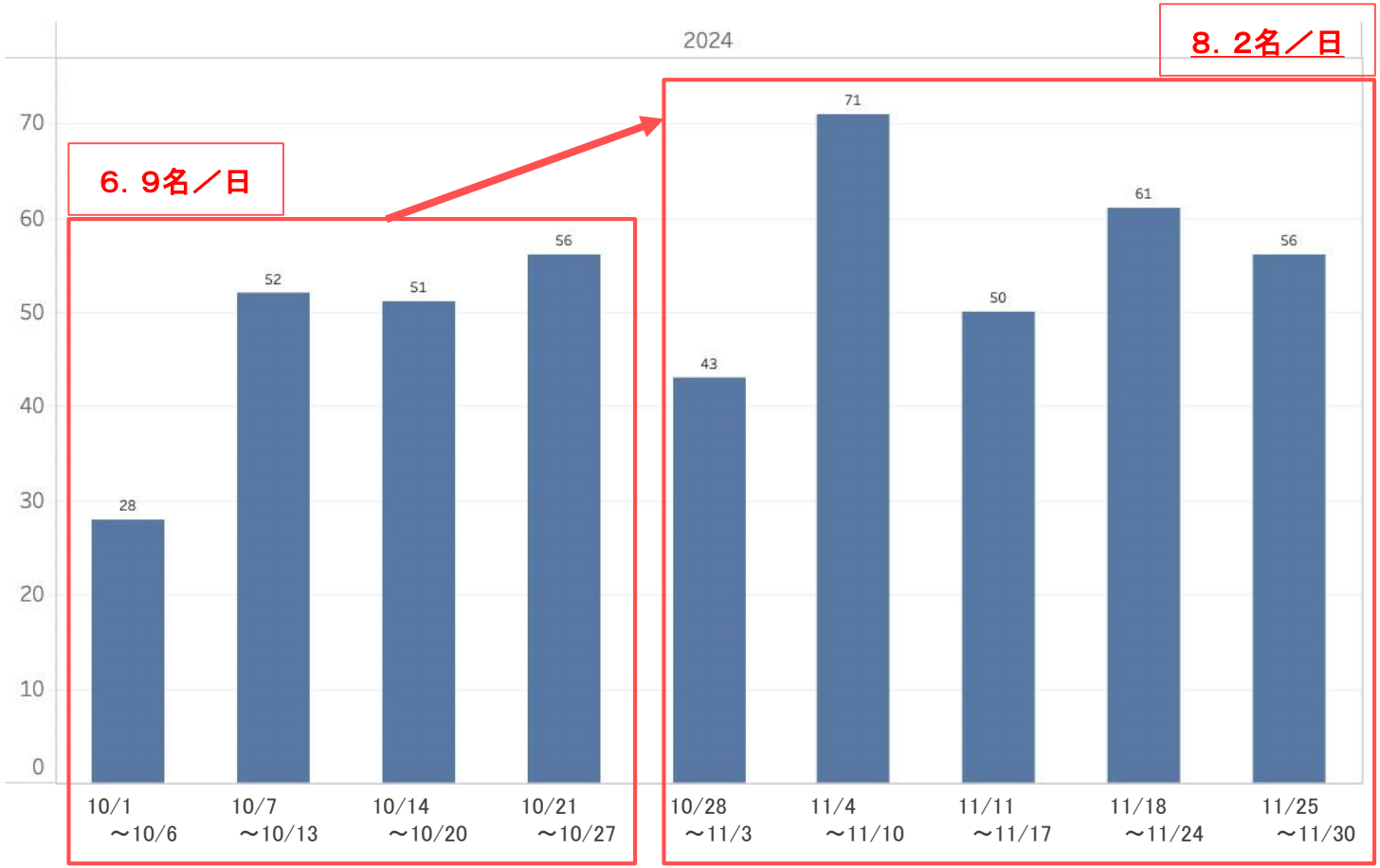


© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

- ✓ 片丘地区の１日当たりの総乗客数は約7.6名/日で推移しています。
- ✓ 開始当初と比較して、徐々に増加傾向（6.9名/日→8.2名/日）にあります。

※片丘～=「乗車ゾーン」あるいは「降車ゾーン」が「片丘地区」

片丘地区における総乗客数の推移（週次）



© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

2-1.【参考】地域振興バスすてっぷくん片丘線の利用状況（令和6年4月～11月実績）

片丘線利用者数

（広丘駅経由コース2便、
百寿荘経由コース3便の計5便）
※　運休日：日祝日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
合計(人)	560	546	541	588	612	569	546	451
日当たり(人/日)	22.4	22.8	21.6	22.6	23.5	23.7	21.0	17.3

片丘線 便別合計利用者数（人）

（全便・塩尻駅前発着）
（7:00発、17:35発：広丘駅経由）
（9:00発、13:05発、15:10発：百寿荘経由）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
7:00発	111	110	129	129	143	125	126	104
17:35発	93	108	103	121	126	110	80	74
9:00発	125	120	117	106	116	115	123	103
13:05発	142	132	117	128	120	123	131	108
15:10発	89	76	75	104	107	96	86	62

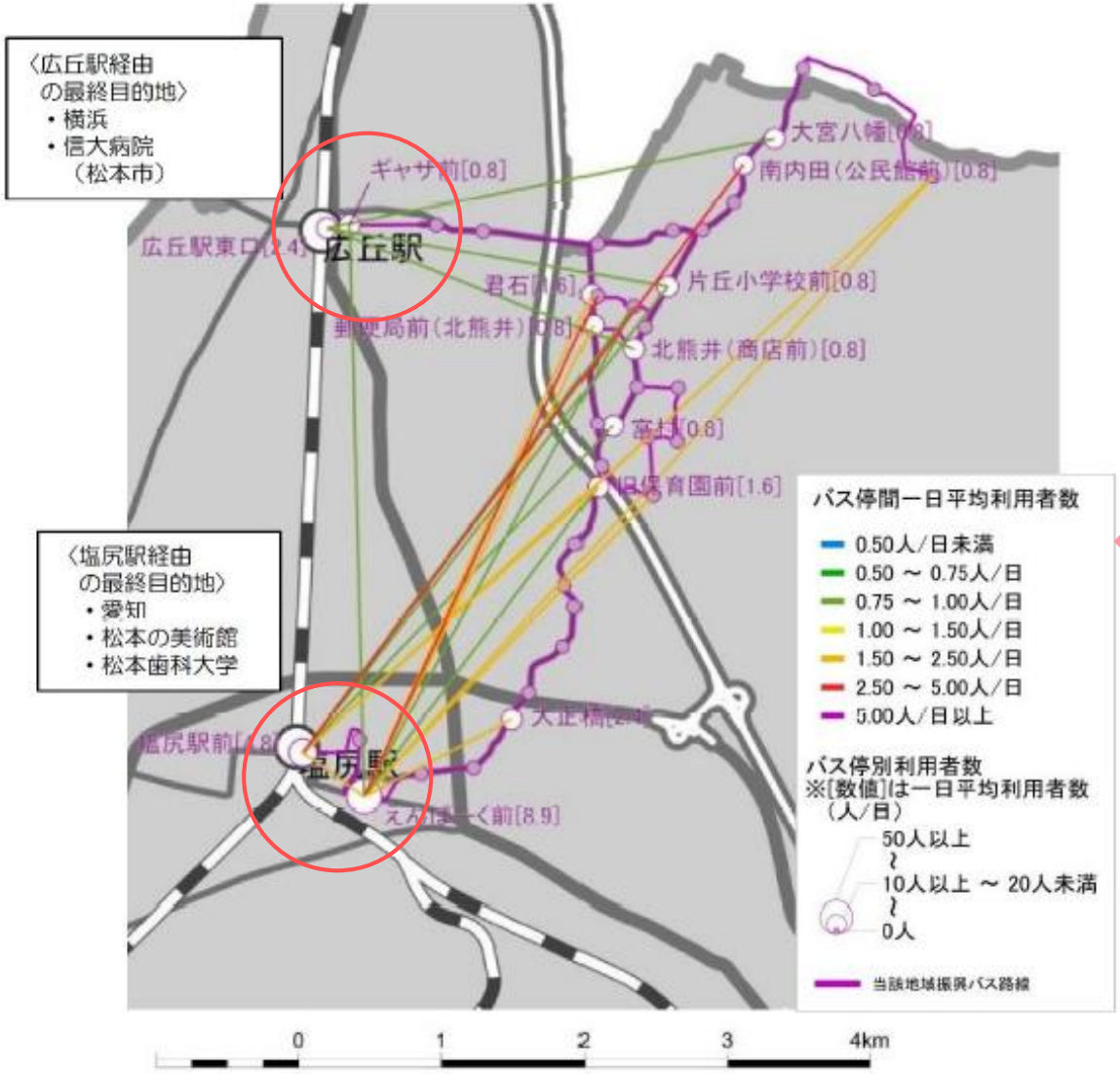
片丘線 便別日当たり利用者数（人/日）

（全便・塩尻駅前発着）
（7:00発、17:35発：広丘駅経由）
（9:00発、13:05発、15:10発：百寿荘経由）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
7:00発	4.4	4.6	5.2	5.0	5.5	5.2	4.8	4.0
17:35発	3.7	4.5	4.1	4.7	4.8	4.6	3.1	2.8
9:00発	5.0	5.0	4.7	4.1	4.5	4.8	4.7	4.0
13:05発	5.7	5.5	4.7	4.9	4.6	5.1	5.0	4.2
15:10発	3.6	3.2	3.0	4.0	4.1	4.0	3.3	2.4

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

✓ 片丘地区の各所から、塩尻駅やえんぱーく、広丘駅への利用が見られます。



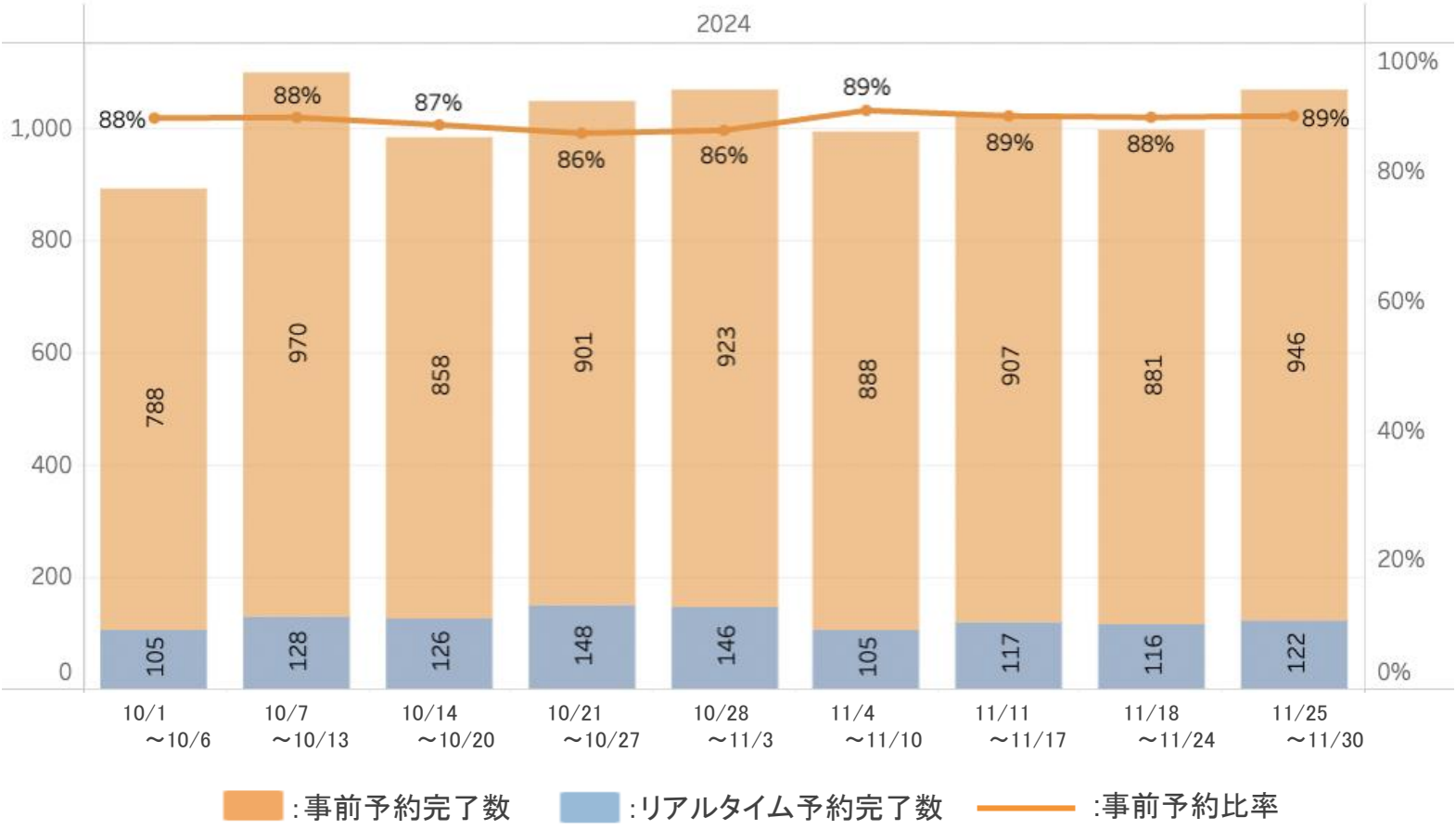
引用元：「塩尻市地域公共交通計画（令和3年7月）」

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

✓ 事前予約比率がリアルタイム予約を上回り、9割近くの方が事前予約を利用しています。

※事前予約比率=事前予約数/（リアルタイム予約+事前予約）

事前予約とリアルタイム予約の推移（週次）

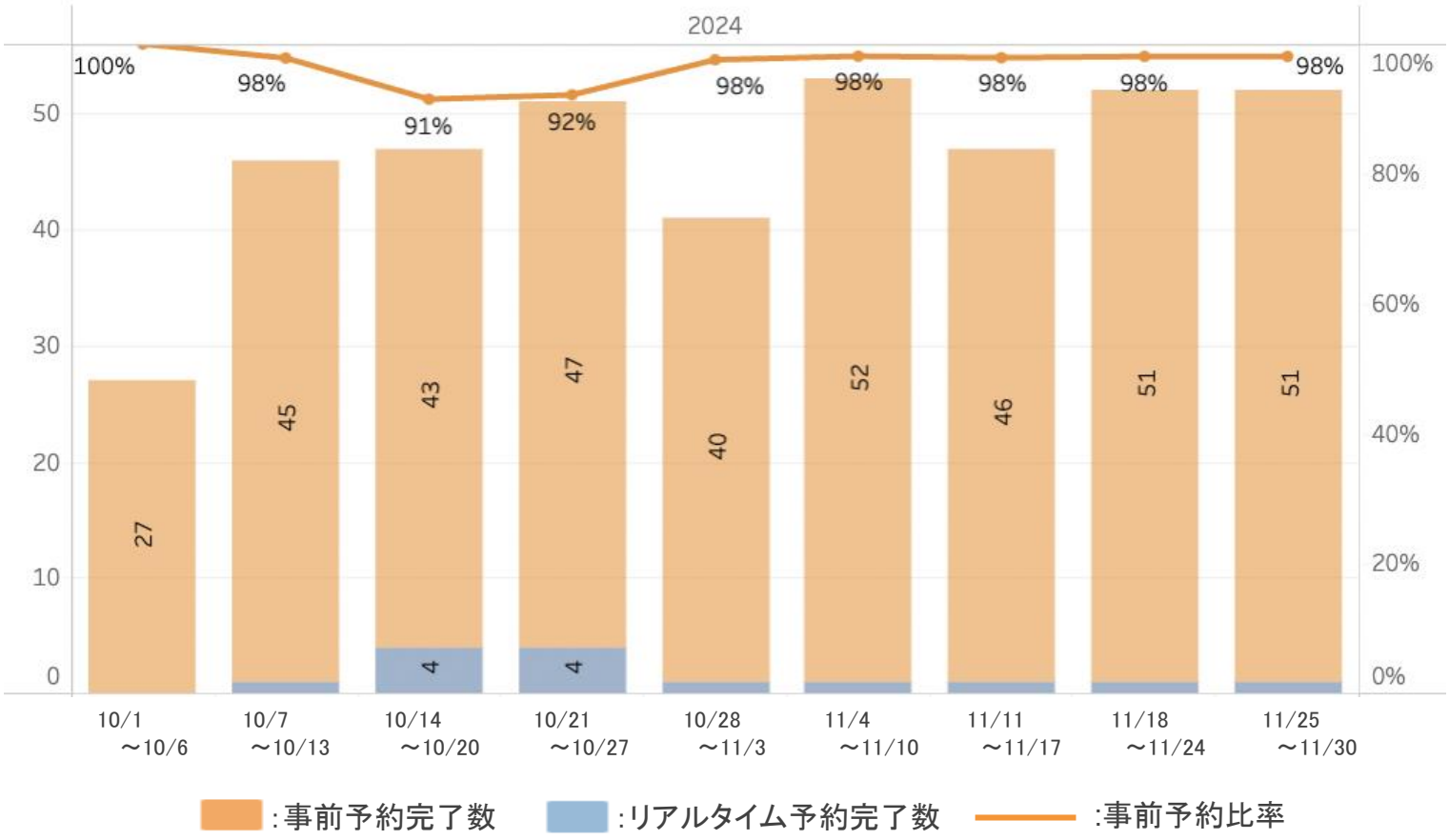


© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

✓ 片丘地区では、ほぼすべての方が事前予約を利用しています。

※事前予約比率=事前予約数/（リアルタイム予約+事前予約）

片丘地区における事前予約とリアルタイム予約の推移（週次）

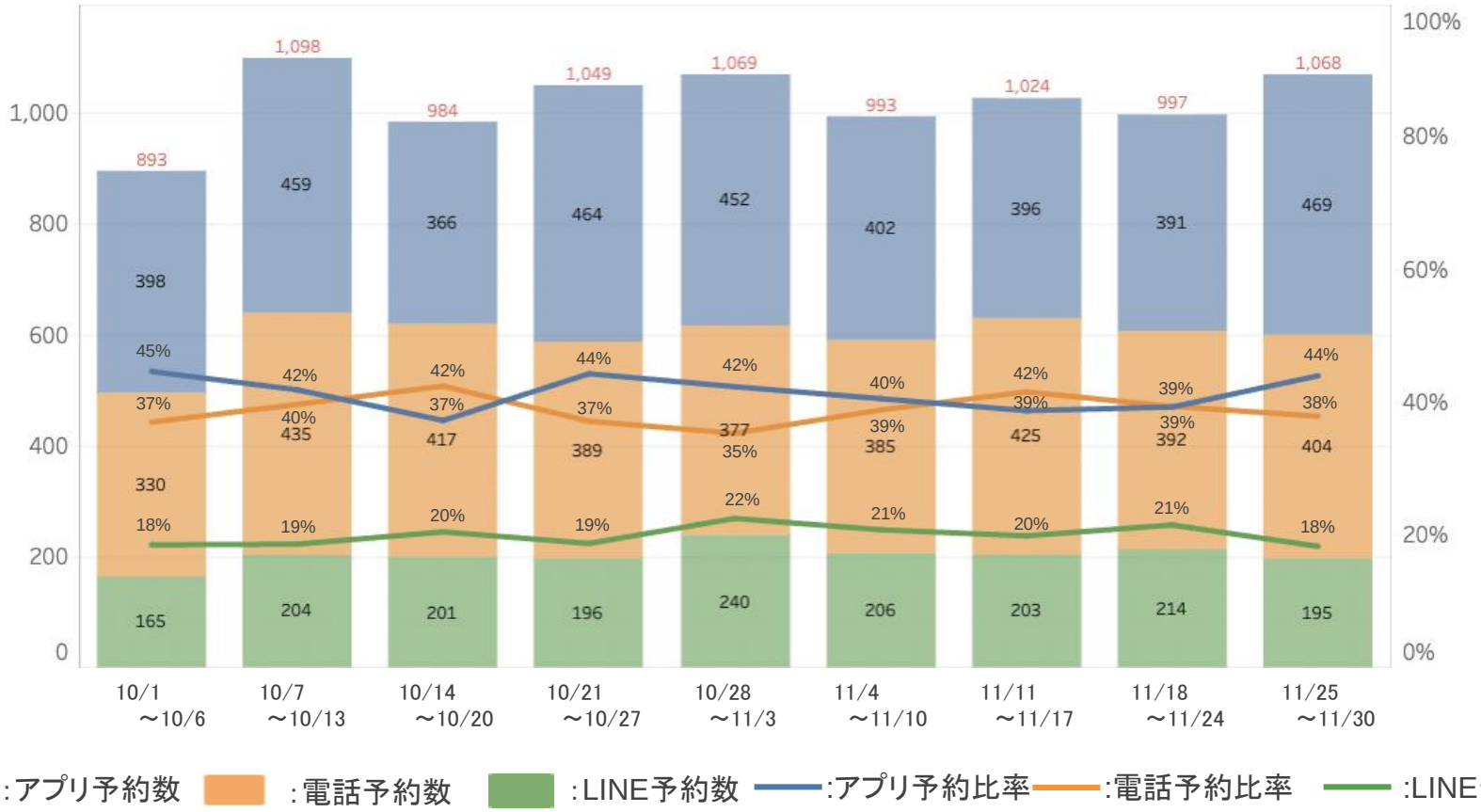


© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

✓ 各予約方法は、電話予約が約40%・アプリ予約が約40%・LINE予約が約20%の割合でご利用いただいています。

※アプリ予約比率=アプリ予約数/（アプリ予約+電話予約+LINE予約）　※電話予約比率=電話予約数/（アプリ予約+電話予約+LINE予約）
※LINE予約比率=LINE予約数/（アプリ予約+電話予約+LINE予約）

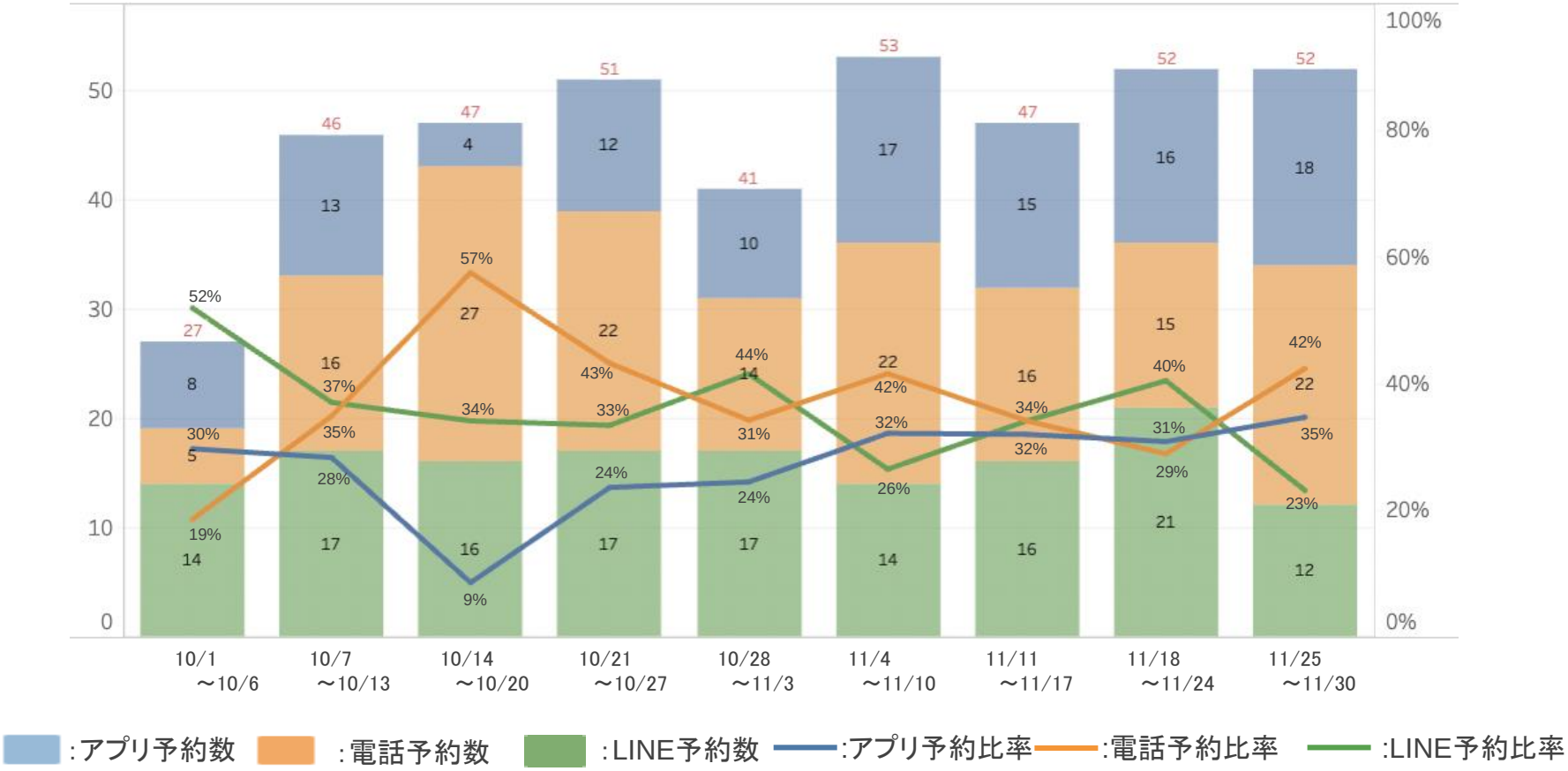
電話予約とアプリ予約とLINE予約の推移（週次）



✓ 片丘地区は、各週で予約方法の比率にばらつきがありますが、全体の割合と比較してLINE予約の比率が高い傾向にあります。

※アプリ予約比率=アプリ予約数/（アプリ予約+電話予約+LINE予約）　※電話予約比率=電話予約数/（アプリ予約+電話予約+LINE予約）
※LINE予約比率=LINE予約数/（アプリ予約+電話予約+LINE予約）

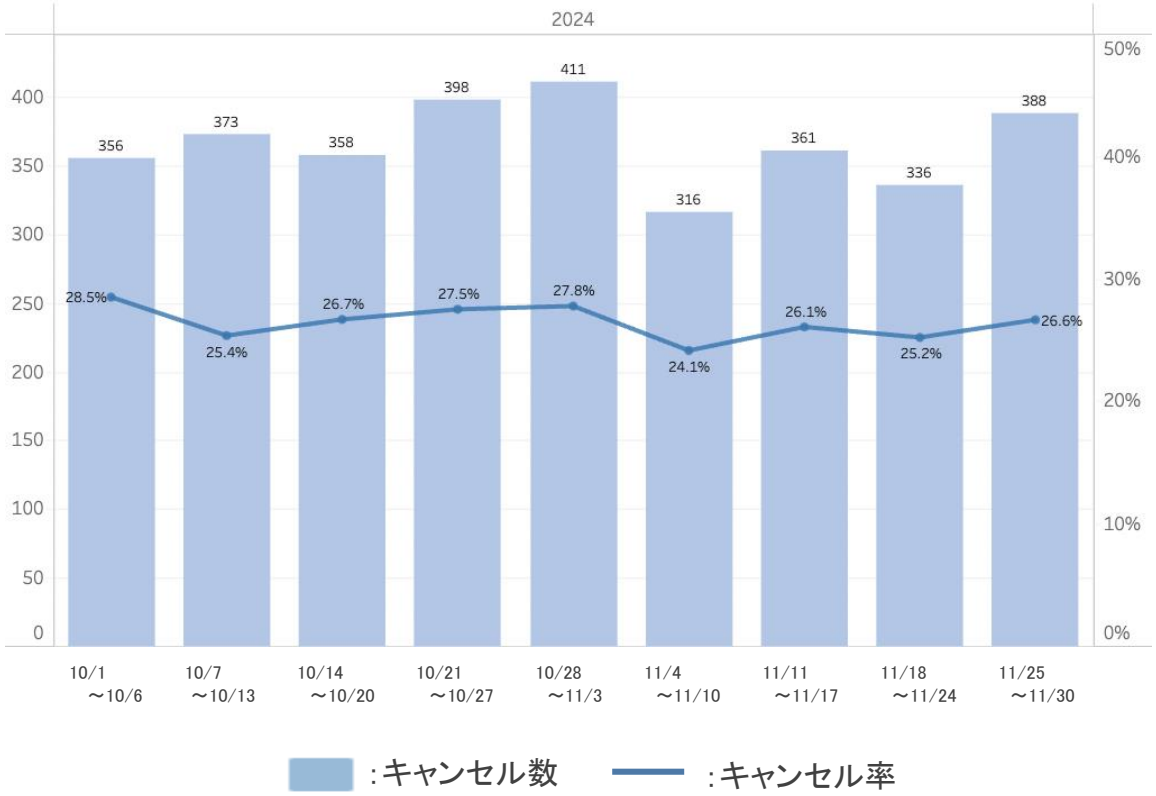
片丘地区における電話予約とアプリ予約とLINE予約の推移（週次）



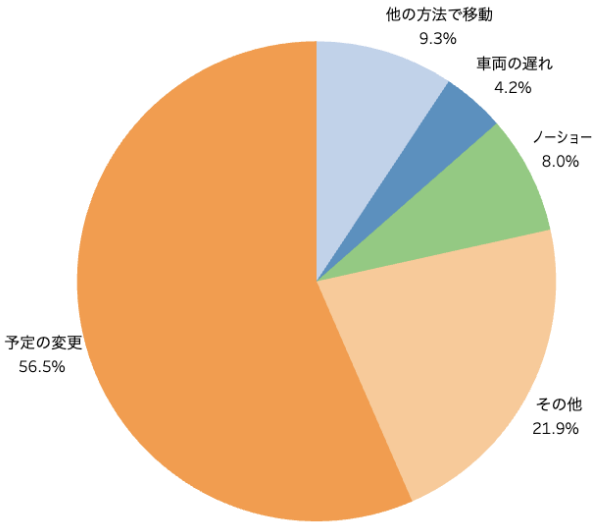
© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

✓ キャンセル率は約25%で推移をしており、理由の半数以上が「予定の変更」によるものです。

キャンセル数とキャンセル率（週次）



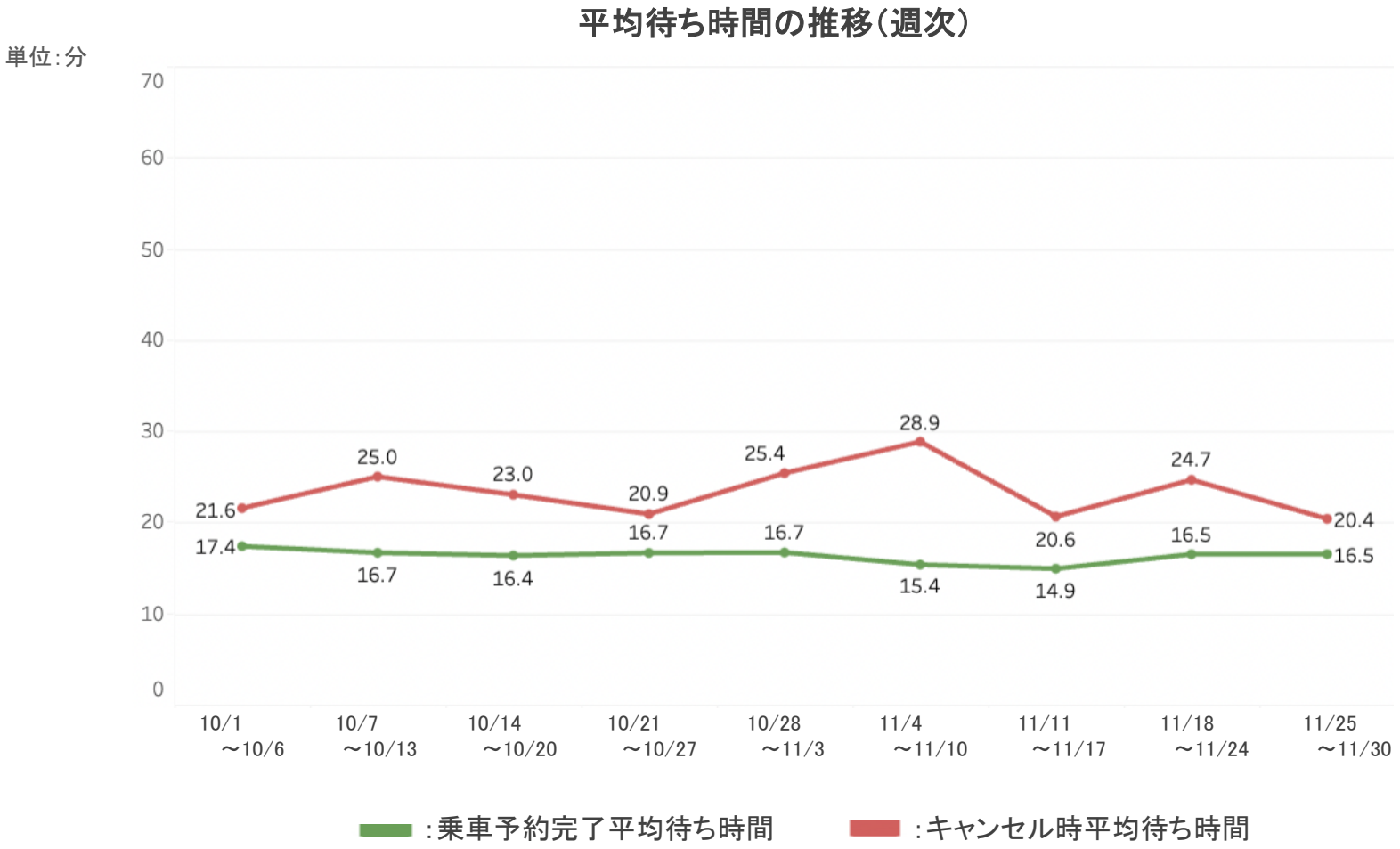
キャンセル理由内訳



© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

- ✓ **乗車予約完了平均待ち時間は約15分程度で推移しています。**
- ✓ **キャンセル時の平均待ち時間は約20分～30分で推移しています。**

※待ち時間は「乗車希望時間と乗車予定時間の乖離」と定義
※キャンセル時案内待ち時間=一旦予約確定後、キャンセルした予約における案内待ち時間
（見積もりのみで、予約確定していないキャンセルは含まず）

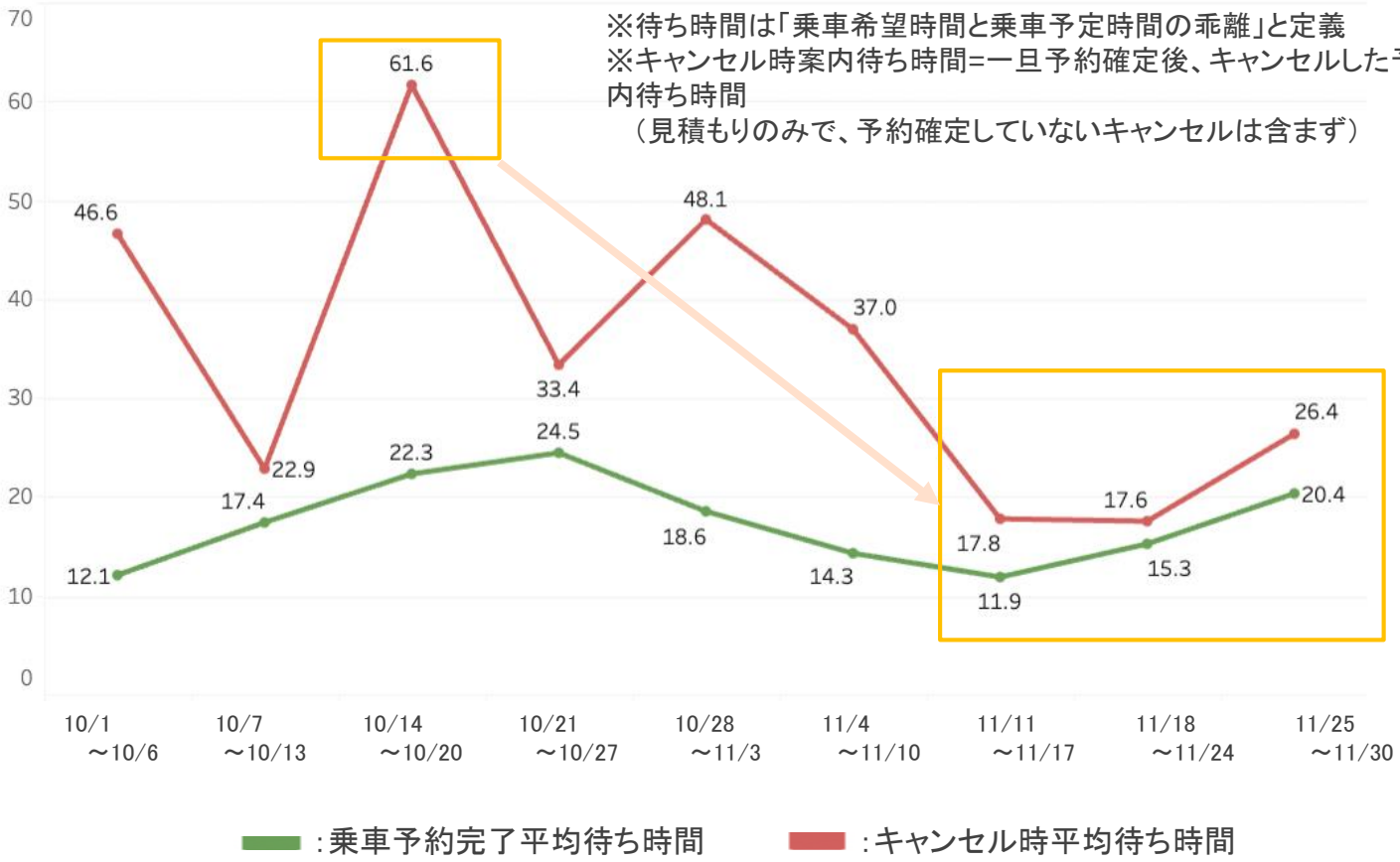


© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

- ✓ **片丘地区の乗車予約完了平均待ち時間は約20分程度で推移しています。**
- ✓ **キャンセル時の平均待ち時間は当初週ごとにばらつきがありましたが、徐々に約20分～30分に落ち着いてきています。**

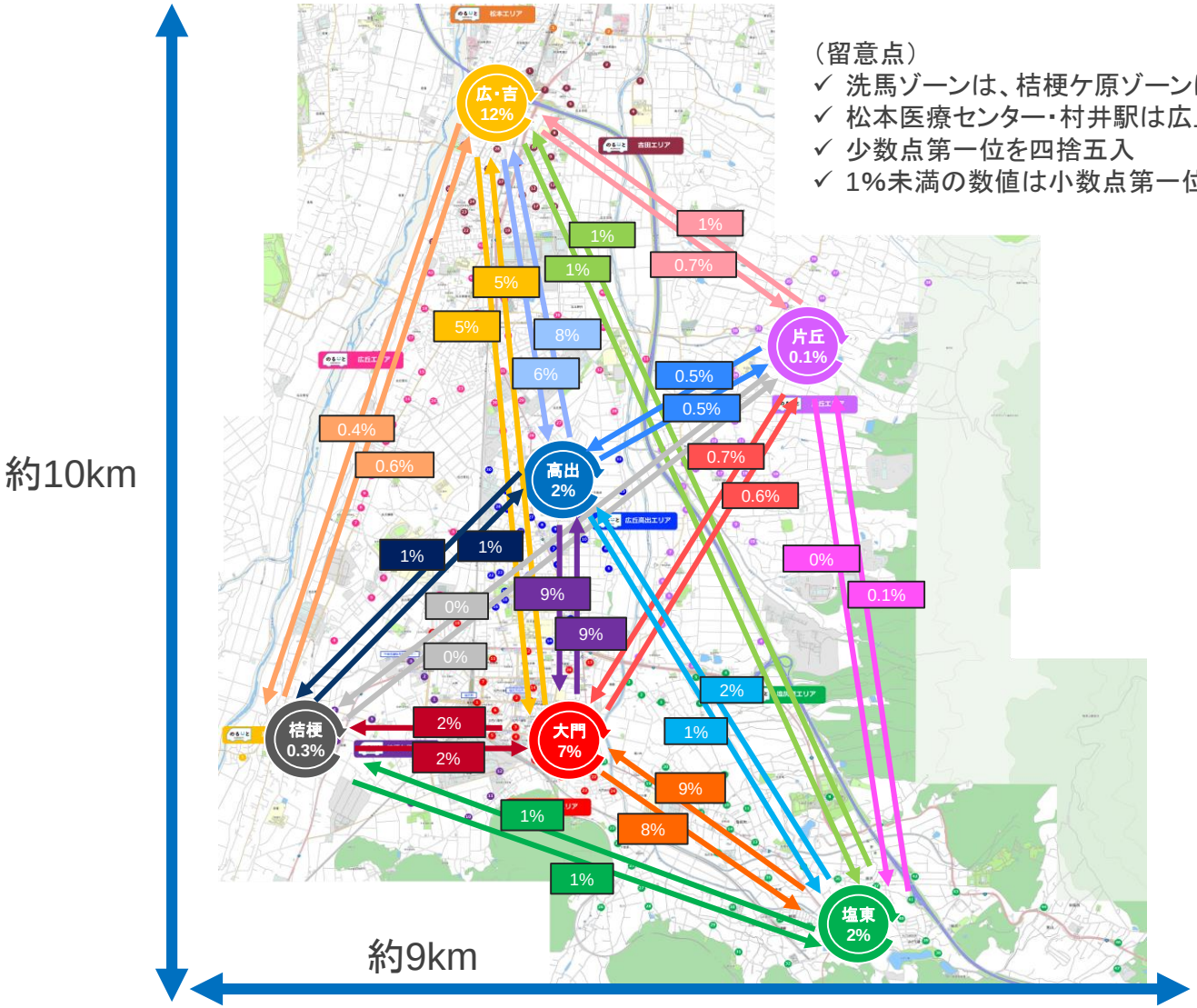
片丘地区における平均待ち時間の推移（週次）

単位：分



© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

✓ 片丘地区を含む移動利用は全体の約4%です。（総乗客数：10,393名）



（留意点）
- ✓ 洗馬ゾーンは、桔梗ケ原ゾーンに含む
- ✓ 松本医療センター・村井駅は広丘・吉田ゾーンに含む
- ✓ 少数点第一位を四捨五入
- ✓ 1%未満の数値は小数点第一位までを表記

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

集計期間：24年10/1～11/30

✓ 乗降場所（MP）利用TOP35は、駅や商業施設が上位にランクインしています。
✓ 片丘地区の乗降場所（MP）はランクインしませんでした。

乗車MP TOP35（乗客数）

1	大-1 塩尻駅東口	1,175
2	広-37 GAZA（ギャザ）北口正面	367
3	大-4 ウイングロード	360
4	大-3 えんぱーく	291
5	広-21 広丘駅東口	214
	高-⑤-5 ツルヤ広丘店	214
7	高-②-1 ザ・ビッグ塩尻広丘店	199
8	高-⑤-4 ふれあいセンター広丘	171
	宗-2 西友塩尻西店	171
10	大-2 塩尻市役所	167
11	松-2 まつもと医療センター（東向き）	163
12	大-16 セブンイレブン塩尻日ノ出町店	151
13	吉-17 吉田三区八常会集会所	136
14	大-12 カワチ薬品塩尻店	130
15	高-④-1 セブンイレブン塩尻高出店（西向き）	113
16	東-30 松原区ふれあい広場	107
17	高-①-3 カインズ塩尻店	106
18	東-16 JA松本ハイランド塩尻地域交流センター	103
19	高-③-11 レオパレス芝茶屋（西向き）	102
20	高-④-2 中島書店（南向き）	101
21	広-20 広丘駅西口	95
	高-③-10 ローソン塩尻桔梗ケ原店	95
23	東-1 塩尻協立病院	87
24	大-26 桟敷原児童公園	86
25	高-③-1 佐々木整骨院（東向き）	84
26	広-1 松本歯科大学	83
27	高-③-2 ホテルルートイン塩尻	79
28	広-32 野村公民館（南向き）	77
29	高-①-1 中村病院	72
30	広-26 ローソン塩尻広丘野村店	71
31	高-④-1 セブンイレブン塩尻高出店（東向き）	70
32	吉-26 吉田原団地中（南向き）	69
	東-10 町区公民館（西向き）	69
34	吉-23 デリシア吉田原店	67
35	大-13 バロー塩尻店	66

降車MP TOP35（乗客数）

1	大-1 塩尻駅東口	1,346
2	大-4 ウイングロード	477
3	広-21 広丘駅東口	397
4	広-37 GAZA（ギャザ）北口正面	310
5	高-⑤-5 ツルヤ広丘店	237
6	松-2 まつもと医療センター（東向き）	228
7	高-②-1 ザ・ビッグ塩尻広丘店	216
8	大-3 えんぱーく	212
9	大-2 塩尻市役所	194
10	高-⑤-4 ふれあいセンター広丘	192
11	広-20 広丘駅西口	166
12	宗-2 西友塩尻西店	149
13	広-1 松本歯科大学	134
14	吉-17 吉田三区八常会集会所	133
	高-①-1 中村病院	133
16	大-12 カワチ薬品塩尻店	123
17	高-④-1 セブンイレブン塩尻高出店（西向き）	106
18	松-1 村井駅	101
19	東-30 松原区ふれあい広場	95
20	東-19 とをしや薬局塩尻中学前店（東向き）	94
21	高-①-3 カインズ塩尻店	92
22	大-16 セブンイレブン塩尻日ノ出町店	86
23	吉-28 吉田原団地北（南向き）	81
24	広-31 ファミリーマート塩尻金塚店	80
	東-1 塩尻協立病院	80
26	広-19 えんてらす	78
27	広-29 アピナ塩尻店	77
	大-14 塩尻市立体育館（西向き）	77
	大-14 塩尻市立体育館（東向き）	77
30	広-32 野村公民館（南向き）	76
31	高-④-2 中島書店（北向き）	74
32	宗-7 桔梗ケ原病院	71
	大-26 桟敷原児童公園	71
	東-25 下西条	71
35	吉-1 信州健康ランド	69
	大-6 ホテル中村屋	69

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

集計期間：24年10/1～11/30

✓ 片丘地区からの乗降利用では、君石団地・集荷所前が乗降場所（MP) 利用の上位にランクインしています。

乗車MP 上位（乗客数）

1	片−26 君石団地（南向き）	47
2	高−②−1 ザ・ビッグ塩尻広丘店	38
3	広−37 GAZA（ギャザ）北口正面	29
4	片−17 集荷所前（南向き）	26
5	大−3 えんぱーく	22
	片−26 君石団地（北向き）	22
7	広−21 広丘駅東口	20
	片−17 集荷所前（北向き）	20
9	大−1 塩尻駅東口	15
10	大−16 セブンイレブン塩尻日ノ出町店	12

降車MP 上位（乗客数）

1	片−26 君石団地（北向き）	51
2	松−1 村井駅	43
3	広−21 広丘駅東口	39
4	高−②−1 ザ・ビッグ塩尻広丘店	38
5	大−1 塩尻駅東口	22
	大−4 ウイングロード	22
7	広−37 GAZA（ギャザ）北口正面	16
8	片−27 内田原公園（西向き）	15
9	片−7 南熊井下村（北向き）	13
10	片−11 セブンイレブン塩尻片丘店	12
11	片−17 集荷所前（南向き）	11

※「乗車ゾーン」あるいは「降車ゾーン」が「片丘地区」となっている移動を抜粋して集計
※10回以上の利用があるMPを対象に抜粋

© 2024 Shiojiri City / 塩尻市都市計画課

資料No.2

第1号議案

令和6年度塩尻市地域内フィーダー系統確保維持改善計画に係る事業評価（案）について

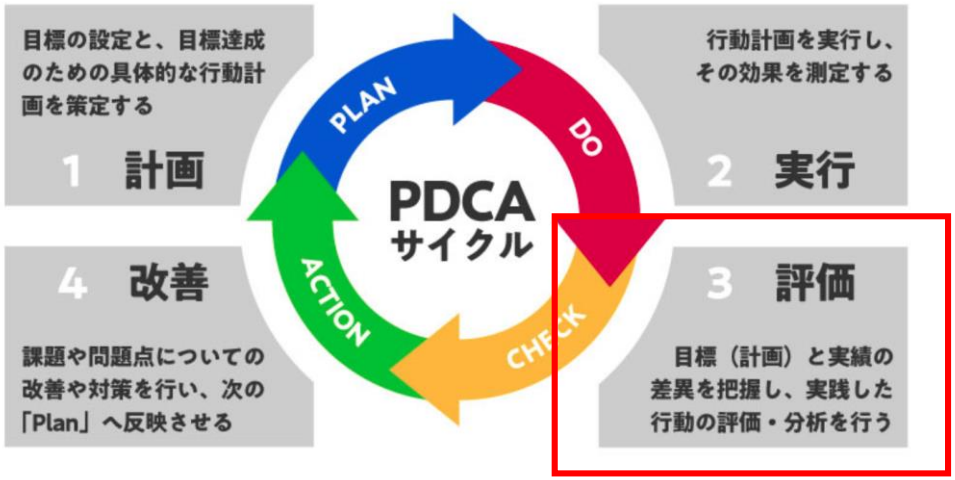
© 2024 Shiojiri City / 建設部都市計画課

1　趣旨

- 塩尻市では地域振興バス北小野線の運行にあたって、国の地域公共交通確保維持改善事業のメニューにある地域内フィーダー系統確保維持事業補助金を活用しています。
- 当該補助金の交付要綱の規定では、事業実施の適切性、目標・効果の達成状況を毎年度評価し、翌年度以降の事業実施につなげていくとともに、評価の内容について公表することが定められています。
- 本日はこの自己評価案について皆様に協議をお願いするものです。

2　評価の内容

- 対象事業
  令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画（北小野線の運行計画）
- 対象期間
  令和5年10月～令和6年9月の1年間
- 計画に位置付けた目標等
  1回あたりの平均乗車人数：10人、年間利用者数：11，640人



© 2024 Shiojiri City / 建設部都市計画課

令和6年度事業の実績

年	月	利用者数(人)	運行日数(日)	運行回数(回)	合計(回)	1回当たり平均(人)
R5	10月	1,026	25	4	100	10.3
	11月	957	24	4	96	10.0
	12月	992	25	4	100	9.9
R6	1月	883	23	4	92	9.6
	2月	834	23	4	92	9.1
	3月	923	25	4	100	9.2
	4月	1,044	25	4	100	10.4
	5月	919	24	4	96	9.6
	6月	974	25	4	100	9.7
	7月	1,026	26	4	104	9.9
	8月	1,002	26	4	104	9.6
	9月	877	23	4	92	9.5
合計		11,457	294	48	1,176	9.7

R5.10月～R6.9月

計画の目標値	
1回あたりの乗車人数	10.0人
年間利用者数	11,640人

【参考】令和5年度事業の実績

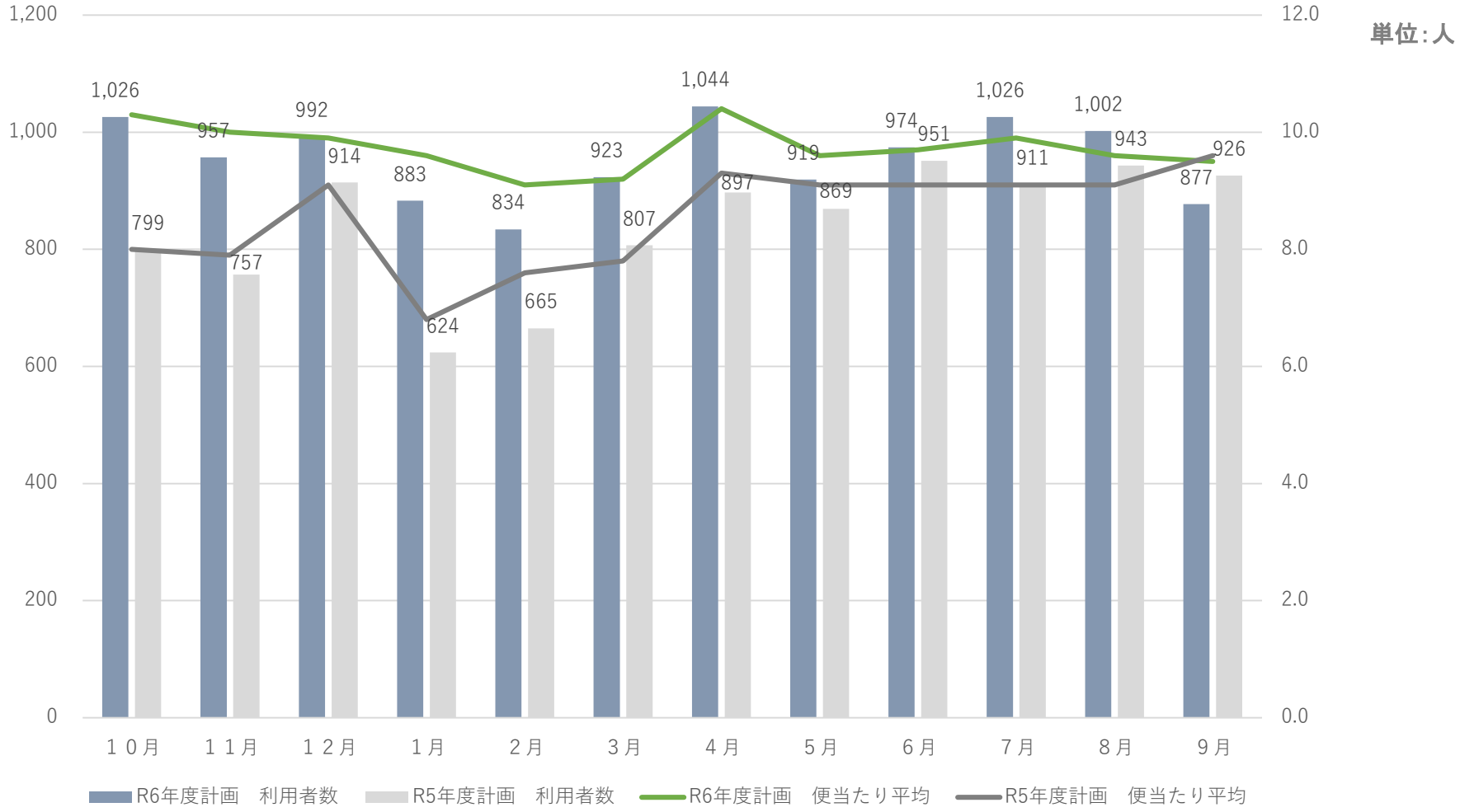
年	月	利用者数(人)	運行日数(日)	運行回数(回)	合計(回)	1回当たり平均(人)
R4	10月	799	25	4	100	8.0
	11月	757	24	4	96	7.9
	12月	914	25	4	100	9.1
R5	1月	624	23	4	92	6.8
	2月	665	22	4	88	7.6
	3月	807	26	4	104	7.8
	4月	897	24	4	96	9.3
	5月	869	24	4	96	9.1
	6月	951	26	4	104	9.1
	7月	911	25	4	100	9.1
	8月	943	26	4	104	9.1
	9月	926	24	4	96	9.6
合計		10,063	294	48	1,176	8.6

R4.10月～R5.9月

計画の目標値	
1回あたりの乗車人数	10.0人
年間利用者数	11,640人

© 2024 Shiojiri City / 建設部都市計画課

目標値の年間利用者数11,640人、1回あたり平均10人には届きませんでしたが、利用者は前年同月を上回る月がほとんどであり、最終的には利用者総数は前年度より1,394人、1回あたり1.1人の増加となりました。1回あたりの乗車人数が10人を超える月も何度かあり、目標値達成へ明るい兆しが見えました。対象地区の人口水準が変わらない中で利用者が増加していますが、今後も地元住民や関係機関との協議を継続して行い、利便性の高い交通モードにしていく必要があります。



© 2024 Shiojiri City / 建設部都市計画課

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（生活交通確保維持改善計画に基づく事業）

令和6年12月23日

協議会名：塩尻市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果達成状況		⑥事業の今後の改善点（特記事項を含む）
アルピコタクシー株式会社	北小野線 （勝弦先廻り） 塩尻駅前～塩尻東保育園前～塩嶺別荘口～勝弦詰所前～小野駅～小野駅西～塩尻東保育園前～塩尻駅前 （古町先廻り） 塩尻駅前～塩尻東保育園前～小野駅西～小野駅～勝弦詰所前～塩嶺別荘口～塩尻東保育園前～塩尻駅前	前回計画では、目標値は達成できなかったが、利用者は増加し目標値に近付くことができた。 北小野線は令和4年5月に実施したダイヤ改正により、利用者の利便性向上のためフリー降車制度を導入した。 フリー降車制度の利用は北小野線が全体の約64%を占めており利用率がとても高い状況にある。 本制度が認知されてきたことも利用者増加の要因の一つとして考えられる。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B	1回当たり10人、年間利用者数11,640人の目標値に対し、それぞれ9.7人、11,457人と目標値は達成できなかった。 しかし、利用者の減少を食い止めるという観点から見ると利用者は増加傾向にあるため、該当地域の居住人口が同水準であることを考えると、目標値に近付いたことは一定の成果が出ていると考える。	目標値達成に向けては制度の認知度を高めるため、引き続き利便性の高い制度があることを広報誌や地区回覧等でPRし利用者の増加に努める。 現状で1回あたりの利用者が9.7人であるとともに利用者が増加していることから、一度で大量に輸送できる体制が必要なため、定時定路線型のバスの運行維持は必須である。 また、ダイヤ改正を近々予定しているため、他の交通モードとの連携を含めた最適な運行形態の検討を進めていく。

＜評価基準について＞

④事業実施の適切性

A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された

B 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった

C 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった

⑤目標・効果達成状況

A 事業が計画に位置づけられた目標を達成した（する見込み）

B 事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった（一部達成できない見込み）

C 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった（達成できない見込み）

© 2024 Shiojiri City / 建設部都市計画課

別添１－２

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和6年12月23日

協議会名：塩尻市地域公共交通会議

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

地域の交通の目指す姿（事業実施の目的・必要性）	本市は木曽地域の北東端に位置する急峻な山岳地帯と松本盆地の南端に扇状地帯をなしており、約290.18㎢の面積を有しています。本市は民間路線が次々と廃止される中で、高齢者等の交通弱者の移動を支援する目的で平成11年から塩尻市地域振興バスの運行を開始し、市街地だけでなく農山村地域の暮らしも維持し「まちなかの便利な生活」と「農山村地域のゆとりのある生活」を両立する地域公共交通体系の実現を目指しています。 その中で、北小野地区はJR小野駅があるものの、地区の一部は駅から1㎞以上離れている集落は交通不便地域となっていること及び市街地周辺と比較して老年人口割合が高くなる傾向が顕著に出ており、今後は生活支援としての交通手段の確保・維持が重大な課題となってきます。 本事業では公共交通空白地解消のため、買い物や通院など日常生活を支えるサービス水準を確保するための交通ネットワークを形成していくことを目的としています。しかし、山間部等を経路としていることや交通不便地域を可能な限り経路としている関係上、経路の長大化及び燃料費や人件費等の運行経費増加は避けられない状況であり、路線確保維持には当該事業が必要不可欠であります。

資料No.3

第2号議案

のるーと松本の田川高校乗り入れについて

・寿エリア乗降拠点設置箇所

【設置イメージ】

のる一と塩尻で
設置している
ポイントと併用

【航空写真】

令和７年度AI活用型オンデマンドバス本格運行計画

のるーと KNOWROUTE

事業の概要

項目	内容
実施主体	松本市
本格運行開始日	令和７年４月1日
運行時間	運行日　月曜日から金曜日 運休日　土曜日、日曜日、祝日 年末年始（12月29日から１月３日） 運行時間　午前９時～午後５時
運行事業者	松本地区タクシー協議会
事業許可	道路運送法第４条
実証運行対象エリア	松本市寿エリア・松本市梓川エリア
実証運行エリア面積	１　松本市寿エリア　約11㎢ ２　松本市梓川エリア　約20㎢
使用車両台数	各エリア２台
乗降拠点設置箇所数	１　松本市寿エリア　150カ所 ２　松本市梓川エリア　220カ所
運賃設定	１乗車あたり 大人３００円、中高生２００円、 障がい者・小学生１００円（未就学児は無料）